

**HC100™**

リストバンド・プリンタ

---

ユーザー・ガイド



© 2012 ZIH Corp. このマニュアルおよびプリンタ内のソフトウェアおよびファームウェアの著作権は、ZIH Corp. および Zebra のライセンス許諾者が所有しています。このマニュアルまたはプリンタ内のソフトウェアおよびファームウェアを不正に複製すると、1年以内の禁固刑または10,000ドル以下の罰金が課せられることがあります (17 U.S.C.506)。著作権違反者は、民事責任の対象になります。

この製品には、ZPL<sup>®</sup>、ZPL II<sup>®</sup>、および ZebraLink<sup>™</sup> の各プログラム、Element Energy Equalizer<sup>®</sup> 回路、E<sup>3</sup><sup>®</sup>、および Monotype Imaging フォントが使用されています。Software © ZIH Corp. All rights reserved worldwide.

ZebraLink およびすべての製品名と製品番号は商標であり、Zebra、Zebra のロゴ、ZPL、ZPL II、Eltron、Element Energy Equalizer 回路、および E<sup>3</sup> 回路は ZIH Corp. の登録商標です (All rights reserved worldwide)。

その他すべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に属します。詳細については、製品 CD に記録されている「Trademarks (商標)」情報を参照してください。

**所有権の宣言** このマニュアルには、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (Zebra Technologies) が専有する情報が含まれています。このマニュアルの目的は、記載されている機器について、使用するユーザーに操作および保守情報を提供することにあります。このような専有情報を、Zebra Technologies Corporation の書面による許可なしに、その他の目的のために使用したり、複製を行ったり、または他者に開示することは禁じられています。

**製品の改善** 製品の継続的な改善は、Zebra Technologies Corporation のポリシーです。すべての仕様や設計は、通知なしに変更される場合があります。

**責任の放棄** Zebra Technologies Corporation では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りが含まれないよう、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies Corporation は、誤りが発見された場合にそれを補正し、その誤りによって生じる責任を放棄する権利を有しています。

**責任の制限** いかなる場合においても、Zebra Technologies Corporation、または付属の製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の作成、製造、または配布にかかわるその他の関係者は、本製品の使用、使用した結果、または使用できなかった結果により生じるすべての損害 (業務利益の損失、業務の中断、または業務情報の損失を含む派生的損害を含むがそれに限定されない) に対し、Zebra Technologies Corporation がそのような損害の発生する可能性を通告されていた場合でも、一切責任を負いません。管轄区域によっては、付随的または派生的損害の除外または制限を認めていない場合があります。そのため、上記の制限または除外がお客様に適用されないことがあります。



## 適合性の宣言

以下で示される Zebra プリンタは：

HC100™

製造元

**Zebra Technologies Corporation**  
333 Corporate Woods Parkway  
Vernon Hills, Illinois 60061-3109 U.S.A.

上記 Zebra プリンタ製品は、FCC 法規の所定の技術基準に準拠していることを宣言いたします。

**家庭用、事務所、商業用、および工業用**

ただし、本宣言にあたっては、次を条件とします。

- (1) この機器に対して未承認の変更を加えないこと。
- (2) 所定の手順に従って保守および操作を適切に行うこと。

## FCC 準拠ステートメント

このデバイスは Part 15 規則に準拠し、動作は以下の 2 条件を前提とします。

1. 当該デバイスによる有害な干渉を発生しない。
2. 当該デバイスは、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

Zebra Technologies Corporation により明示的に承認されていない変更や改造を行った場合、ユーザーは設備を稼動する権限を失う可能性があるため、注意してください。仕様に準拠するため、このプリンタにはシールド付き通信ケーブルを使用する必要があります。

## FCC 規定の電磁波暴露限度 (内蔵無線デバイス付きのプリンタ)

この機器は、規制外環境向けに FCC により既定されている電磁波暴露限度に準拠しています。取り付けや操作を行う場合は、ラジエータから最低 20 cm 離れてください。

この送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に取り付けたり、併用しないでください。

## データ・ケーブルに対する FCC 規則

Zebra プリンタは、完全にシールドされた 2 m (6.5 フィート) のデータ・ケーブルを使用した Class B 装置に関する FCC 規則 Part 15 に準拠しています。シールドされていないケーブルを使用すると、Class B の限度を超えるノイズが放射されるおそれがあります。

## カナダの DOC 準拠に関する声明

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003. (このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。)

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

---

# 本書について



この項では、各種の連絡先、文書の構造と構成、およびその他の参考情報について説明します。

## 目次

対象読者.....	vi
本書の構成.....	vi
連絡先.....	vii
文書の表記規則.....	viii

## 対象読者

本書ユーザー・ガイドは、プリンタの操作または問題の解決を行う必要がある読者を対象に書かれています。上級ユーザーまたはサービス技師向けの項が含まれていません。

## 本書の構成

本書ユーザー・ガイドは以下のように構成されています。

項	説明
1 ページの「 <i>HC100 の概要</i> 」	この項では、プリンタのコンポーネント、インジケータ・ランプ、操作用コントロールを説明します。
13 ページの「 <i>プリンタのセットアップ</i> 」	この項では、プリンタのセットアップ、ネットワークへの接続、使用準備の手順について説明します。
21 ページの「 <i>トラブルシューティング</i> 」	この項では、さまざまなプリンタ・ステータスランプの意味について説明します。
33 ページの「 <i>定期的なメンテナンス</i> 」	この項では、定期的なクリーニング手順およびリサイクル情報について説明します。
45 ページの「 <i>上級ユーザー向け情報</i> 」	この項では、上級ユーザーまたはサービス技師専用の情報および手順を記載しています。
65 ページの「 <i>仕様</i> 」	この項では、プリンタとリストバンドの仕様について説明します。

## 連絡先

インターネットを利用した技術サポートは、年中無休、24 時間受け付け可能です。

Web サイト : [www.zebra.com](http://www.zebra.com)

テクニカル・ライブラリのメール返送先 :

- 電子メール・アドレス : [emb@zebra.com](mailto:emb@zebra.com)
- 件名 : Emaillist

セルフサービス・ナレッジ・ベース : [www.zebra.com/knowledgebase](http://www.zebra.com/knowledgebase)

オンライン・ケース登録 : [www.zebra.com/techrequest](http://www.zebra.com/techrequest)

必要な部署	南アメリカ / 北アメリカ	ヨーロッパ、アフリカ、 中東、インド	アジア太平洋
<b>地域本部</b>	Zebra Technologies International, LLC 333 Corporate Woods Parkway Vernon Hills, IL 60061-3109 U.S.A. T: +1 847 793 2600 (フリーダイヤル) +1 800 423 0422 F: +1 847 913 8766	Zebra Technologies Europe Limited Dukes Meadow Millboard Road Bourne End Buckinghamshire, SL8 5XF United Kingdom T: +44 (0) 1628 556000 F: +44 (0) 1628 556001	Zebra Technologies Asia Pacific Pte. Ltd. 120 Robinson Road #06-01 Parakou Building Singapore 068913 T: +65 6858 0722 F: +65 6885 0838
<b>技術サポート</b> Zebra 機器およびソフトウェアの操作に関する質問については、販売業者にお問い合わせください。さらに援助が必要な場合は、Zebra までお問い合わせください。 モデル番号とシリアル番号をご用意ください。	T: +1 877 ASK ZEBRA (275 9327) F: +1 847 913 2578 ハードウェア : <a href="mailto:ts1@zebra.com">ts1@zebra.com</a> ソフトウェア : <a href="mailto:ts3@zebra.com">ts3@zebra.com</a>	T: +44 (0) 1628 556039 F: +44 (0) 1628 556003 E: <a href="mailto:Tseurope@zebra.com">Tseurope@zebra.com</a>	T: +65 6858 0722 F: +65 6885 0838 E: 中国 : <a href="mailto:tschina@zebra.com">tschina@zebra.com</a> その他の地域 : <a href="mailto:tsasiapacific@zebra.com">tsasiapacific@zebra.com</a>
<b>修理サービス部門</b> プリンタのご送付による修理についてのお問い合わせ。	T: +1 877 ASK ZEBRA (275 9327) F: +1 847 821 1797 E: <a href="mailto:repair@zebra.com">repair@zebra.com</a> 米国での修理を依頼するには、 <a href="http://www.zebra.com/repair">www.zebra.com/repair</a> を参照してください。	T: +44 (0) 1772 693069 F: +44 (0) 1772 693046 新しいご依頼 : <a href="mailto:ukrma@zebra.com">ukrma@zebra.com</a> ステータスの更新 : <a href="mailto:repairupdate@zebra.com">repairupdate@zebra.com</a>	T: +65 6858 0722 F: +65 6885 0838 E: 中国 : <a href="mailto:tschina@zebra.com">tschina@zebra.com</a> その他の地域 : <a href="mailto:tsasiapacific@zebra.com">tsasiapacific@zebra.com</a>
<b>技術研修部門</b> Zebra 製品研修コースについてのお問い合わせ。	T: +1 847 793 6868 T: +1 847 793 6864 F: +1 847 913 2578 E: <a href="mailto:ttamerica@zebra.com">ttamerica@zebra.com</a>	T: +44 (0) 1628 556000 F: +44 (0) 1628 556001 E: <a href="mailto:Eurtraining@zebra.com">Eurtraining@zebra.com</a>	T: +65 6858 0722 F: +65 6885 0838 E: 中国 : <a href="mailto:tschina@zebra.com">tschina@zebra.com</a> その他の地域 : <a href="mailto:tsasiapacific@zebra.com">tsasiapacific@zebra.com</a>
<b>製品照会部門</b> 製品カタログおよび流通業者、販売業者についてのお問い合わせ。	T: +1 877 ASK ZEBRA (275 9327) E: <a href="mailto:inquiry4@zebra.com">inquiry4@zebra.com</a>	T: +44 (0) 1628 556037 F: +44 (0) 1628 556005 E: <a href="mailto:mseurope@zebra.com">mseurope@zebra.com</a>	E: 中国 : <a href="mailto:GCmarketing@zebra.com">GCmarketing@zebra.com</a> その他の地域 : <a href="mailto:APACChannelmarketing@zebra.com">APACChannelmarketing@zebra.com</a>
<b>カスタマ・サービス部門 (米国)</b> <b>国内販売部門 (英国)</b> プリンタ本体、パーツ、用紙、リボンに関するお問い合わせは、最寄りの販売代理店または弊社までご連絡ください。	T: +1 877 ASK ZEBRA (275 9327) E: <a href="mailto:clientcare@zebra.com">clientcare@zebra.com</a>	T: +44 (0) 1628 556032 F: +44 (0) 1628 556001 E: <a href="mailto:cseurope@zebra.com">cseurope@zebra.com</a>	T: +65 6858 0722 F: +65 6885 0836 E: 中国 : <a href="mailto:order-csr@zebra.com">order-csr@zebra.com</a> その他の地域 : <a href="mailto:csasiapacific@zebra.com">csasiapacific@zebra.com</a>
<b>省略記号 :</b> T: 電話 F: ファックス E: 電子メール			

## 文書の表記規則

本書では、特定の情報を提供するにあたって次の表記規則が使用されます。

代替色 (オンラインのみ) 相互参照には、このガイドの別の項にジャンプするためのホット・リンクが含まれています。このガイドを .pdf 形式でオンライン表示している場合に、相互参照 (青いテキスト) をクリックすると、参照先に直接ジャンプします。

### 絵記号の意味



**Caution** • 静電気放電の危険があることを警告します。



**Caution** • 過剰な温度の上昇によって火傷を負う危険があることを警告します。



**Caution** • 特定の操作を実行しなかった場合、または特定の操作を避けなかった場合、身体に負傷を及ぼす危険があることを警告します。

**Caution** • (絵記号なし) 特定の操作を実行しなかった場合、または特定の操作を避けられなかった場合、ハードウェアに損傷を及ぼす危険があることを警告します。



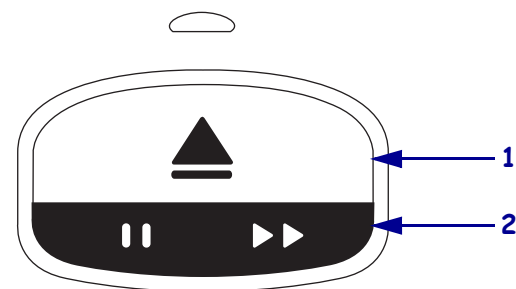
**Important** • タスクを完了するために重要な情報を通知します。



**Note** • 本文の要点を強調または補足する中立的情報または肯定的情報を示します。

**図の見出し** 見出しは、ラベル付けと説明が必要な情報が図に含まれているときに使用されます。ラベルと説明を含む表が、図の後に表示されます。Figure 1 は例を示します。




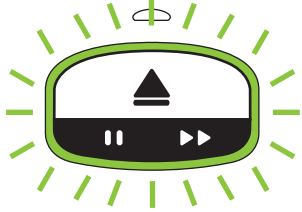
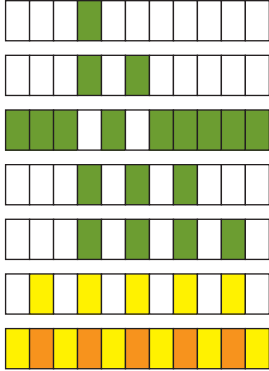
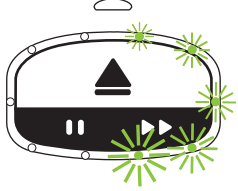


図 1 • 見出し付きのサンプル



1	EJECT (取り出し) ボタン
2	Pause/Feed (一時停止 / フィード) ボタン



コントロール・パネル・ランプ プリンタのステータス・インジケータには緑色、黄色、オレンジ色のランプがあり、点滅または回転して、プリンタのステータスとエラー状態を示します。以下で、ランプとランプのシーケンスを示します。

<p>点灯</p> 	<p>色つきのバーは、プリンタのステータス・インジケータがオンになっていることを示します。</p>  <p>2色に分かれたバーは、プリンタのステータス・インジケータのランプの半分が1色で点灯し、ランプの半分はもう1色で点灯していることを示しています。</p> 
<p>点滅</p> 	<p>分割されたバーの色を交互に変えることで、プリンタのステータス・インジケータのランプが点滅していることを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1箇所点滅</li> <li>• 2箇所点滅</li> <li>• 点灯して2箇所点滅</li> <li>• 3箇所点滅</li> <li>• 4箇所点滅</li> <li>• 点滅の繰り返し</li> <li>• 2色で点滅</li> </ul> 
<p>ランプの回転</p> 	<p>プリンタのステータス・インジケータ・ランプが、時計回りに回転しながら点灯します。</p> <p>1点ずつ回転するランプは、破線の半円型矢印と、ランプの色を表すバーで示されます。</p>  <p>回りながら点灯していくランプは、実線の半円型矢印と、ランプの色を表すバーで示されます。</p> 



メモ • \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



# 目次

## 適合性の宣言 iii

FCC 準拠ステートメント .....	iv
FCC 規定の電磁波暴露限度 (内蔵無線デバイス付きのプリンタ) .....	iv
データ・ケーブルに対する FCC 規則 .....	iv
カナダの DOC 準拠に関する声明 .....	iv

## 本書について ..... v

対象読者 .....	vi
本書の構成 .....	vi
連絡先 .....	vii
文書の表記規則 .....	viii

## 1 • HC100 の概要 ..... 1

プリンタの前面 .....	2
プリンタの後部とコネクタ .....	3
コントロール・パネル .....	4
コントロール・パネル・ランプ .....	4
コントロール・パネル・ボタン .....	4
メディア・カートリッジとリストバンド .....	7
メディア・カートリッジ .....	7
リストバンドのサイズ .....	8
リストバンドの色 .....	8
リストバンドの固定方法 .....	9
リストバンドの印刷領域 .....	11

<b>2・プリンタのセットアップ</b> .....	<b>13</b>
Printer の取り扱い .....	14
Printer の梱包からの取り出しおよび点検 .....	14
Printer の保管 .....	14
Printer の輸送 .....	14
プリンタの使用準備 .....	15
設置場所の選択 .....	15
データ通信インターフェイスへの接続 .....	15
電源への接続と電源の投入 .....	17
メディア・カートリッジの挿入 .....	19
<b>3・トラブルシューティング</b> .....	<b>21</b>
用紙ステータス・インジケータ .....	22
プリンタ・ステータス・インジケータ .....	24
ワイヤレス・ステータス・インジケータ .....	29
その他の問題 .....	30
<b>4・定期的なメンテナンス</b> .....	<b>33</b>
用紙経路のクリーニング .....	34
清浄カードの使用 .....	34
綿棒の使用 .....	36
スマート・カードの接触点とメディア・カートリッジ・センサー・ピンのクリーニング .....	42
プリンタのコンポーネントの取替え .....	44
交換部品の注文 .....	44
プリンタのコンポーネントのリサイクル .....	44
潤滑油 .....	44
<b>5・上級ユーザー向け情報</b> .....	<b>45</b>
プリンタ設定の表示 .....	46
プリンタ設定リストバンド .....	46
プリンタの Web ページから .....	47
プリンタの設定の変更と復元 .....	48
プリント・サーバ設定の設定、変更、復元 .....	56
最初の接続 .....	56
接続後のパラメータの変更 .....	56
Web ページ .....	59
その他の診断ツール .....	61
用紙センサー・プロフィール .....	61
通信診断テスト .....	62
ファームウェアのダウンロード .....	63

<b>6 • 仕様</b> .....	<b>65</b>
物理的および環境上の仕様.....	66
印刷時.....	66
標準またはオプションの機能.....	66
電源コード .....	67



メモ • \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



---

# HC100 の概要

この項では、プリンタのコンポーネント、インジケータ・ランプ、操作コントロールを説明します。

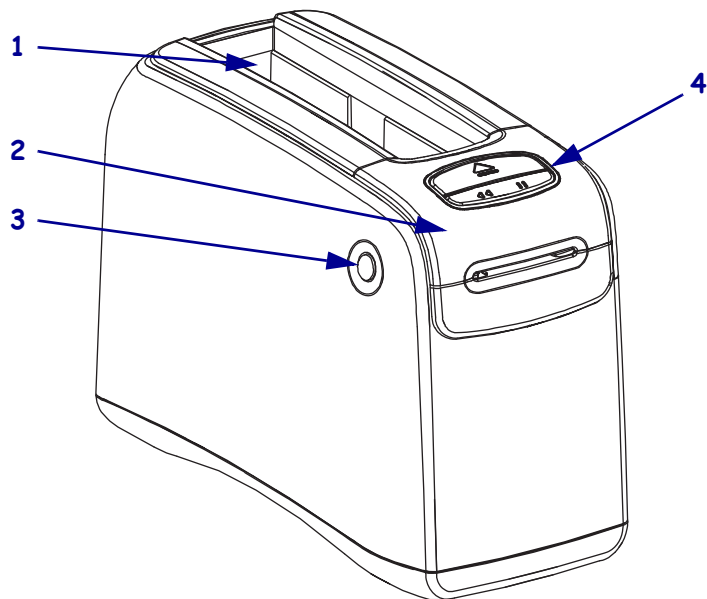
## 目次

プリンタの前面 .....	2
プリンタの後部とコネクタ .....	3
コントロール・パネル .....	4
コントロール・パネル・ランプ .....	4
コントロール・パネル・ボタン .....	4
メディア・カートリッジとリストバンド .....	7
メディア・カートリッジ .....	7
リストバンドのサイズ .....	8
リストバンドの色 .....	8
リストバンドの固定方法 .....	9
リストバンドの印刷領域 .....	11

## プリンタの前面

図 1 はプリンタの前面を示します。

図 1 • Printer の前部



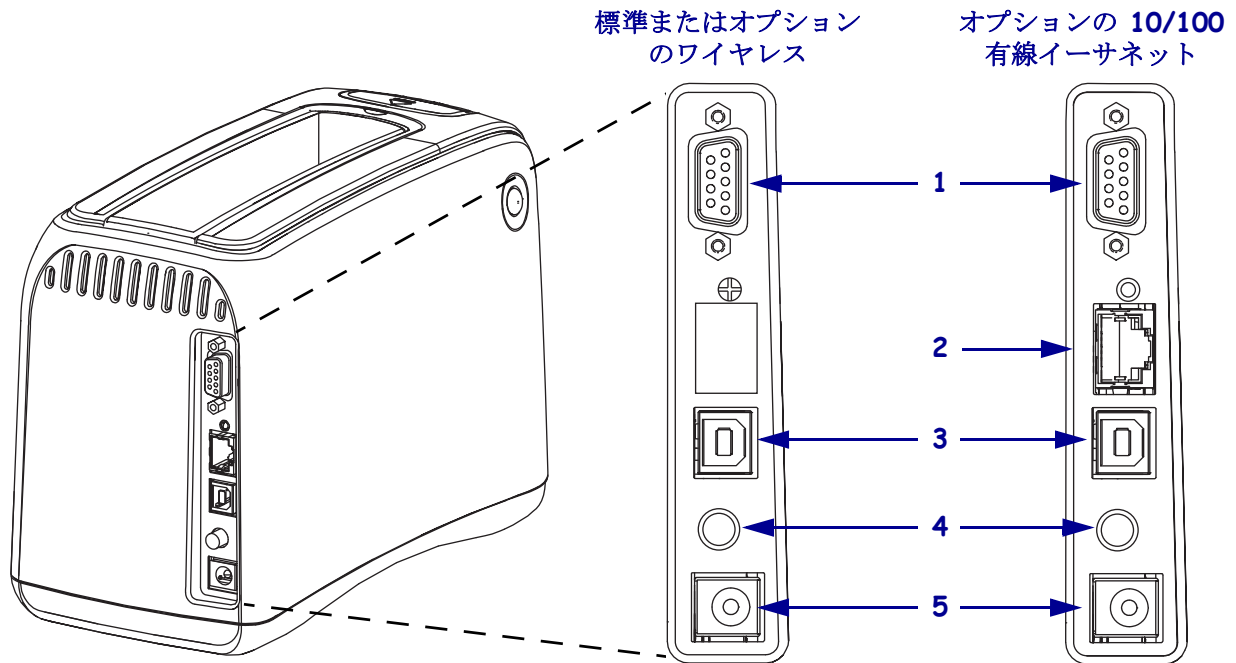
1	メディア・カートリッジのスロット
2	上部カバー
3	上部カバーのリリース・ボタン (両側に1つずつ)
4	コントロール・パネル (4 ページの「コントロール・パネル」を参照)








## プリンタの後部とコネクタ

図 2 は、プリンタ後部のデータ通信コネクタ、電源ボタン、D/C 電源コネクタを示しています。オプションの有線およびワイヤレス・イーサネット・プリント・サーバについては、15 ページの「データ通信インターフェイスへの接続」と 48 ページの「プリンタの設定の変更と復元」を参照してください。

図 2・プリンタの後部



1		シリアル・ポート
2		オプションの ZebraNet® 10/100 内部プリント・サーバ (有線イーサネット) ポート
3		USB ポート
4		電源オン/オフ・ボタン (押した状態がオン、飛び出した状態がオフ)
5		D/C 電源コネクタ

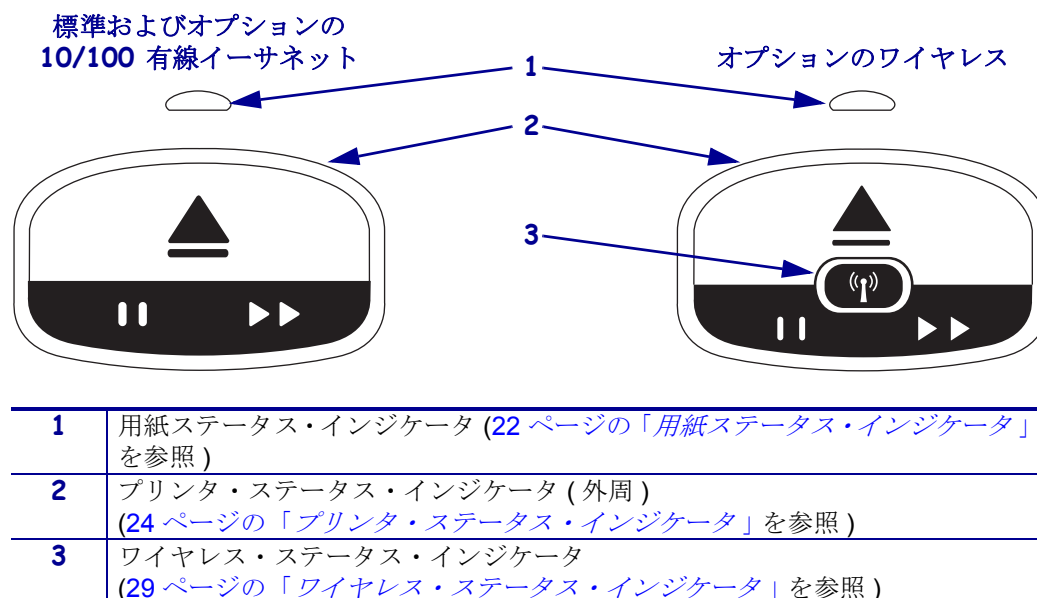
## コントロール・パネル

コントロール・パネルは、プリンタ前部にあります。

### コントロール・パネル・ランプ

コントロール・パネルには2つの基本ランプがあり、プリンタのステータスとエラー状態を示します(図3)。ワイヤレス・イーサネット・オプション付きのプリンタは、この他にもステータス・インジケータ・ライトがあります。

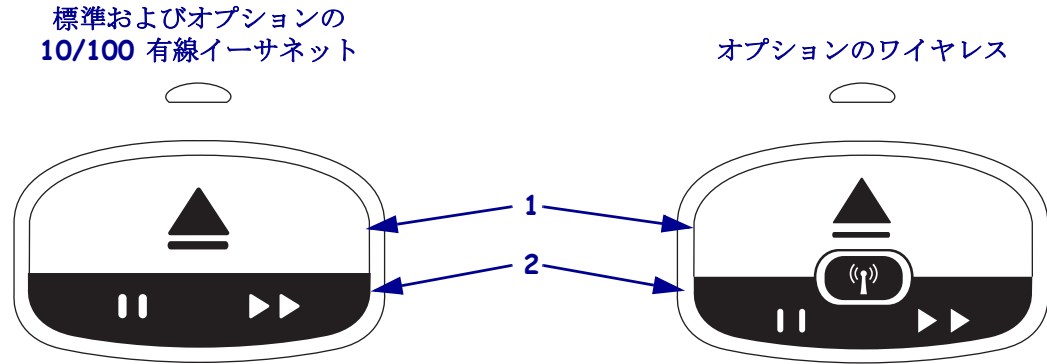
図3・コントロール・パネル・ライト



### コントロール・パネル・ボタン

コントロール・パネルには2つのボタンがあります(図4)。これらの機能を表1で説明します。ボタンを押したり、押したままにすると、ボタンを離したときにプリンタで処理が行われます。

図 4・コントロール・パネル・ボタン



1	EJECT (取り出し) ボタン
2	PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) ボタン

表 1・コントロール・パネル・ボタンの機能


ボタン	機能 / 説明
EJECT (取り出し)	<p>このボタンはプリンタがアイドルまたは一時停止状態の場合にのみ機能します。ボタンを押した場合と、押したままにした場合とでは、機能が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EJECT (取り出し) ボタンを押して離すと、現在のリストバンドが引き込まれ、メディア・カートリッジが取り出されます。</li> <li>EJECT (取り出し) を 6 秒間押したままにすると、突き出ているリストバンドが引き込まれずに、メディア・カートリッジが強制的に取り出されます。強制取り出しの後、上部カバー・リリース・ボタンを押して、プリンタの上部カバーを開き、リストバンドを解放します。リストバンドをカートリッジから取り外す方法は、7 ページの「メディア・カートリッジ」を参照してください。リストバンドの残りをカートリッジから引っ張らないでください。</li> </ul> <p> <b>注記</b>・EJECT (取り出し) を押してもメディア・カートリッジが取り出されない場合は、プリンタの電源を入れ直してもう一度 EJECT を押してください。強制取り出しオプションは、その他の操作が失敗した場合の最終的な手段としてのみご利用ください。</p>

表 1・コントロール・パネル・ボタンの機能

ボタン	機能 / 説明
PAUSE/FEED (一時停止 / フィード)	<p>PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) は、ボタンを押した場合と押したままにした場合によって、プリンタがアイドル状態か一時停止状態かによって機能が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) を押して離すと、2つの機能を利用できます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一時停止 - PAUSE/FEED は、プリンタがリストバンドを印刷中は一時停止ボタンとして機能します。リストバンドを印刷中、ボタンを押すと、次のリストバンドの印刷が始まる前にプリンタが一時停止します。ボタンをもう一度押すまで、プリンタは一時停止のままです。</li> <li>• フィード - PAUSE/FEED は、プリンタがアイドル中はフィード・ボタンとして機能します。ボタンを押すと、ブランク・リストバンドが1個送られます。</li> </ul> </li> <li>• PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) を押したままにすると、プリンタはユーザー設定モードになります。プリンタ・ステータス・インジケータ・ライトが2秒間隔で橙色で点滅します。PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) を離すタイミングによって、別の処理が行われます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 橙色1回点滅 - プリンタ設定リストバンドが印刷されます。</li> <li>• 橙色2回点滅 - 用紙センサー・プロフィールが印刷されます。</li> <li>• 橙色3回点滅 - プリント・サーバのパラメータ (有線イーサネットおよびワイヤレス・イーサネット) がすべてデフォルトに戻ります。</li> <li>• 橙色4回点滅 - プリンタ・パラメータがすべてデフォルトに戻ります。</li> <li>• 橙色で4回点滅した後、プリンタはユーザー設定モードを終了します。プリンタ・ステータス・ライトが緑の点灯に戻ります。PAUSE/FEED を離すと、リストバンドが送られます。</li> </ul> </li> </ul>

## メディア・カートリッジとリストバンド

Zebra HC100 プリンタは、最大限の使いやすさを求めて開発されました。最小限のトレーニングで使用できます。Zebra の Z-Band® リストバンドを格納したセットしやすいカートリッジをプリンタにはめ込むだけで、個々のリストバンドが印刷されます。HC100 プリンタは、リストバンドのサイズを検出し、設定を自動的に校正して印刷品質を最適化します。リストバンドに印刷されたバー・コードとテキストは鮮明で、その状態が長持ちします。

リサイクル可能なメディア・カートリッジで、様々なサイズ、カラー、固定方式のリストバンドを使用できます。これらの情報は、メディア・カートリッジのラベルに表示されています。

抗菌コートされたリストバンドなど、様々な用途や環境で使用されるメディア・タイプの最新情報については、Zebra Web サイト ([www.zebra.com](http://www.zebra.com)) をご覧ください。

注文方法については、[vii ページの「連絡先」](#)を参照してください。プリンタには、Zebra™ の純正サプライ品のみお使いいただけます。

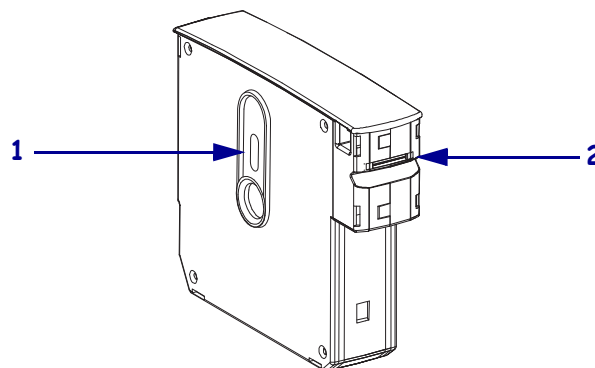


メディア・カートリッジは、再利用や再充填ができません。メディア・カートリッジは、地域の法令または規制に従って廃棄してください。Zebra のリサイクル・プログラムにつきましては、<http://www.zebra.com/environment> を参照してください。

### メディア・カートリッジ

メディア・カートリッジの左側のリストバンド・サプライ・ウィンドウで、カートリッジ内のメディア残量を確認できます (図 5)。リストバンドは、メディア・カートリッジ前面のスロットから排出されます。

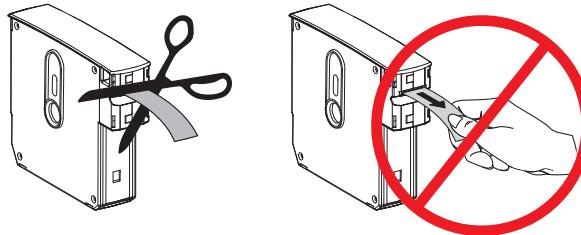
図 5・メディア・カートリッジ



1	リストバンド・サプライ・ウィンドウ
2	リストバンド排出領域



**重要**・リストバンドをメディア・カートリッジから無理に引き出すと、カートリッジが破損することがあります。破損したカートリッジは機能しません。リストバンドがカートリッジに詰まって引き出せない場合は、ハサミを使って外に出ている部分を切り取り、カートリッジにあわせます。リストバンドの残りをカートリッジから引っ張らないでください。カートリッジが正常にセットされると、プリンタはリストバンドの一部を排出します。



## リストバンドのサイズ

リストバンドのサイズは、各メディア・カートリッジの上部に記載されています(図 6)。リストバンドは、ユーザーの手首または足首にぴったり留まるようにしますが、きつすぎて皮膚を傷付けたたり血流を止めたりしないようにします。

図 6・リストバンド・サイズ・インジケータ



成人



小児



幼児

## リストバンドの色

リストバンドは7色あり、色分けできます。

### 粘着タイプ

- ・ 赤
- ・ 青
- ・ 黄
- ・ 緑
- ・ ピンク
- ・ 紫
- ・ 橙
- ・ 白

### クリップ・タイプ

- ・ 赤
- ・ 青
- ・ 黄色
- ・ 緑色
- ・ ピンク
- ・ 紫
- ・ 白

## リストバンドの固定方法

Zebra では、粘着タイプとクリップ止めタイプの2種類のリストバンドを用意しています。

### 粘着タイプのリストバンド

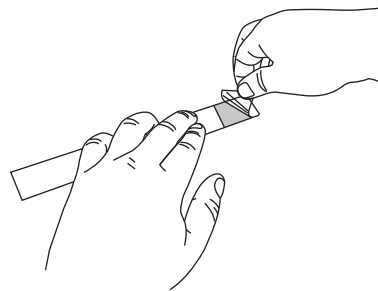
Zebra Z-Band™ ダイレクト・リストバンドは、リストバンドに付けられた接着剤で固定します。

図7・粘着タイプのリストバンド



粘着タイプのリストバンドを固定するには、次の手順に従います。

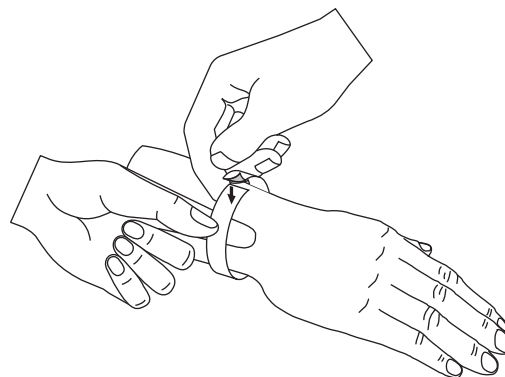
1. 接着剤からカバーを剥がします。



2. リストバンドを手首または足首に巻き、接着面をリストバンドに押し付けます。



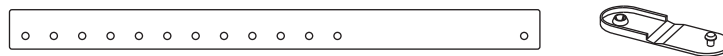
**重要**・リストバンドがゆるすぎたりきつすぎたりしないようにするため、リストバンドと手首または足首の間に指を入れて、リストバンドを巻きます。固定したら、リストバンドを調整しないでください。リストバンドを取り外そうとすると、接着剤の下のいたずら防止スリットが剥がれます。



## クリップ止めタイプのリストバンド

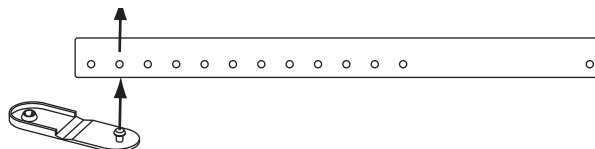
Zebra Z-Band™ クイッククリップ・リストバンドは、クリップで固定します。

図 8・クリップ止めタイプのリストバンド

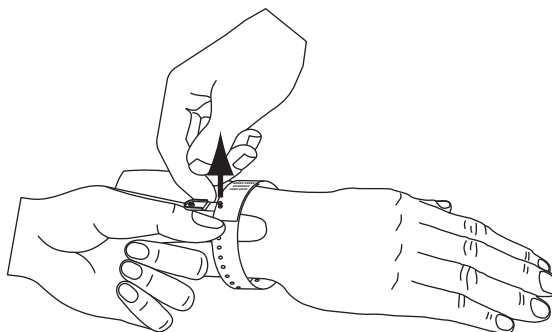


クリップ止めタイプのリストバンドを固定するには、次の手順に従います。

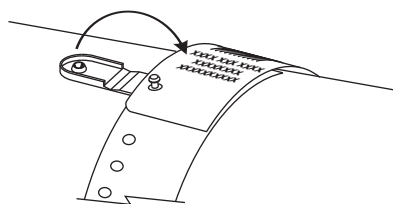
1. クリップの突起部をリストバンドの穴に通します。



2. リストバンドを手首または足首に巻き、突起部をリストバンドの反対側の空いている穴に止めます。必要に応じて、クリップを別の穴に移してリストバンドのサイズを調整します。



3. クリップをたたみ、押して固定します。

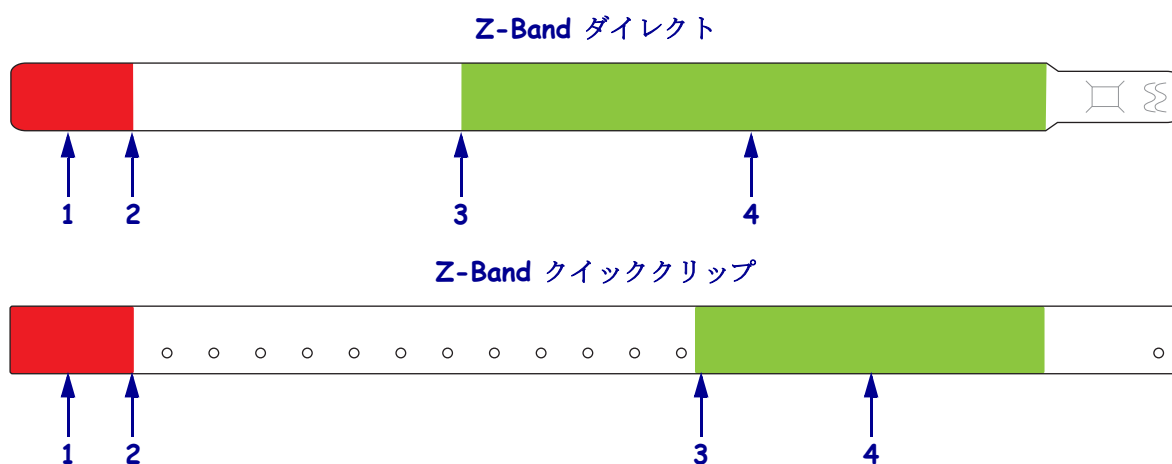




## リストバンドの印刷領域

印刷に最適な領域は、リストバンドのタイプによって異なります。最適な結果を得るには、リストバンドのフォーマットをデザインして、リストバンドの最適な印刷領域に印刷されるようにします( 図 9)。クリップ用穴(Z-Band クイッククリップ)またはいたずら防止スリット(Z-Band ダイレクト)の上に印刷領域が重ならないようにします。

図 9・用紙のホーム・ポジションと最適な印刷領域



1	非印刷可能領域 (赤で表示)	各リストバンドの最初の約 1 インチ (25.4 mm) は印刷できません。用紙がプリンタにバックフィードされないためです。
2	用紙のホーム・ポジション	用紙のホーム・ポジション (0,0) は、リストバンドの先頭から 1 インチ (25.4 mm) の位置になります。
3	推奨印刷開始位置	リストバンドの先頭からの開始位置は、リストバンドのタイプに応じて異なります (表 2)。
4	推奨印刷領域 (緑で表示)	この領域は、リストバンドを固定した後に患者から見えるため、印刷に最適な場所です。

表 2・ラベル・タイプ別の推奨印刷開始位置

リストバンドのタイプ	リストバンド長	先頭からの開始位置
Z-Band ダイレクト	279 mm (11 インチ)	114 mm (4.5 インチ)
	178 mm (7 インチ)	64 mm (2.5 インチ)
	152 mm (6 インチ)	51 mm (2 インチ)
Z-Band クイッククリップ	279 mm (11 インチ)	159 mm (6.25 インチ)
	178 mm (7 インチ)	83 mm (3.25 インチ)



メモ • \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



---

# プリンタのセットアップ

この項では、プリンタのセットアップ、ネットワークへの接続、使用準備の手順について説明します。

## 目次

Printer の取り扱い .....	14
Printer の梱包からの取り出しおよび点検 .....	14
Printer の保管 .....	14
Printer の輸送 .....	14
プリンタの使用準備 .....	15
設置場所の選択 .....	15
データ通信インターフェイスへの接続 .....	15
電源への接続と電源の投入 .....	17
メディア・カートリッジの挿入 .....	19

## プリンタの取り扱い

この項では、プリンタを扱う方法について説明します。

### プリンタの梱包からの取り出しおよび点検

プリンタを受け取ったら、ただちに梱包から取り出し、輸送中の損傷がないかを点検してください。

- 梱包材はすべて保管しておいてください。
- すべての外装表面に損傷がないかを確認します。

点検によって、輸送中に発生した損傷が見つかった場合には、次の手順に従ってください。

- ただちに運送会社に通知し、損害報告を提出します。
- 運送会社の点検に備えて、梱包材料はすべて保管しておきます。
- 最寄の正規 Zebra 販売代理店にお知らせください。



**重要**・Zebra Technologies Corporation では、機器の輸送中に発生した損傷に対しては責任を負わず、保証のもとでの修理も行いません。

### プリンタの保管

プリンタをすぐに使用しない場合は、元の梱包材料を使用してプリンタを梱包し直してください。プリンタは表 3 に示す条件下で保管できます。

表 3・保管時の温度および湿度

温度	相対湿度
-40 ~ 60 °C (-40 ~ 140 °F)	5 ~ 85% (非結露)

### プリンタの輸送

プリンタを輸送する場合は、以下の手順に従ってください。

- プリンタをオフ (O) にして、すべてのケーブルを取り外します。
- プリンタからメディア・カートリッジを取り出します。
- 上部カバーが閉じていることを確認します。
- プリンタを元の段ボール箱またはその他の適切な段ボール箱に注意して梱包し、輸送中の損傷を避けるようにしてください。元の梱包材料がないか、破損している場合は、Zebra から発送用段ボール箱を購入できます。

## プリンタの使用準備

プリンタの使用準備を整えるには、プリンタの適切な設置場所を選択し、適切なケーブルをプリンタに接続し、プリンタの電源を入れ、メディア・カートリッジを選択して挿入します。

### 設置場所の選択

電源コンセントから近い、安定した平らな場所を選びます。また、換気と冷却が適切に行われるように、プリンタの各面には空間を設けてください。



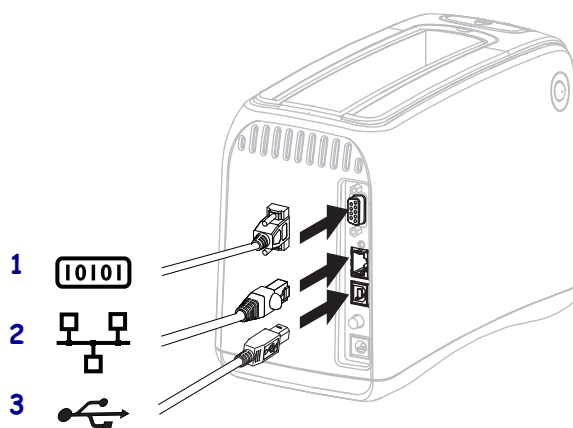
**注意**・プリンタまたはプリント・エンジンの下や背後には緩衝用の当て物を置かないでください。当て物を置くと、プリンタまたはプリント・エンジンが正しく冷却されず、過熱する可能性があります。

### データ通信インターフェイスへの接続

プリンタとコンピュータの両方、またはローカル・エリア・ネットワーク (LAN) でサポートされているデータ通信インターフェイスを選択します。データ通信ポートを使用して、リストバンド・フォーマットをプリンタに送信できます。

図 10 はデータ通信ポートの位置を示します。表 4 は、データ通信インターフェイスに関する基本的な情報を提供します。

図 10・データ通信ポート



1	シリアル・ポート
2	オプションの ZebraNet 10/100 内部プリント・サーバ (有線イーサネット) ポート
3	USB ポート



**注意**・USB ケーブルをプリンタのオプションの 10/100 有線イーサネット・ポートに差し込まないようにしてください。接続すると、コネクタが破損します。10/100 有線イーサネット・ポートは、誤って破損しないようにプラスチックのプラグが付属しています。

表 4・データ通信インターフェイスの特性

インターフェイス	標準またはオプション	特性
RS-232 シリアル	標準	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大ケーブル長 = 15.24 m (50 フィート)</li> <li>ホスト・コンピュータに合わせて、プリンタのパラメータの変更が必要になる場合があります。48 ページの「<a href="#">プリンタの設定の変更と復元</a>」を参照してください。</li> <li>標準のモデム・ケーブルを使用する場合、ヌル・モデム・アダプタを使用してプリンタに接続する必要があります。</li> </ul>
USB	標準	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大ケーブル長 = 5 m (16.4 フィート)</li> <li>ホスト・コンピュータに合わせてプリンタのパラメータを変更する必要はありません。</li> <li>プリンタ・ドライバのインストールが必要です。ドライバは、<a href="http://www.zebra.com/drivers">http://www.zebra.com/drivers</a> から、またはお客様のプリンタに付属の CD から取得できます。</li> </ul>
ZebraNet 10/100 内部プリント・サーバ (有線イーサネット)	オプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>LAN 上の任意のコンピュータからプリンタに印刷できます。</li> <li>プリンタの Web ページからプリンタと通信できます。</li> <li>プリンタは LAN を使用するように構成する必要があります。56 ページの「<a href="#">プリント・サーバ設定の設定、変更、復元</a>」を参照してください。</li> </ul>
ZebraNet 内蔵ワイヤレス・プリント・サーバ (ワイヤレス・イーサネット、802.11b/g)	オプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイヤレス・ローカル・エリア・ネットワーク (WLAN)、および LAN 上の任意のコンピュータからプリンタに印刷できます。</li> <li>プリンタの Web ページからプリンタと通信できます。</li> <li>プリンタは WLAN を使用するように構成する必要があります。56 ページの「<a href="#">プリント・サーバ設定の設定、変更、復元</a>」を参照してください。</li> </ul>

**シールド・データ・ケーブルの使用** イーサネット・ケーブルにはシールドは必要ありませんが、他のデータ・ケーブルは完全にシールドされ、金属または金属で被覆されたコネクタ・シェルを備えていることが必要です。シールドされていないデータ・ケーブルを使用すると、規制制限を超える不要輻射ノイズが放散されるおそれがあります。

## 電源への接続と電源の投入

データ通信インターフェイスに接続したら、プリンタを電源に接続して電源を入れます。

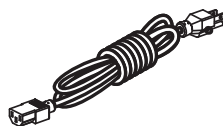


**注意**・使用者と機器の安全を確保するため、設置する地域や国での使用に適した 3 芯の認可電源コードを必ず使用してください。このコードは、IEC 320 メス・コネクタを使用し、その地域に適した 3 芯のアース付きプラグ構成であることが必要です。

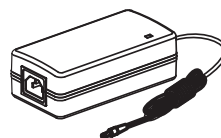
プリンタを電源に接続して電源を入れるには、次の手順を実行します。

1. 電源コード・アセンブリの 2 つのパーツを見つけます。電源コード・アセンブリには、A/C 電源コード (1) と、電源に接続する低電圧 D/C コード (2) があります (Zebra モデル番号 FSP070-RDBM)。プリンタに A/C 電源ケーブルが付属していない場合は、67 ページの「電源コード」で仕様を参照してください。

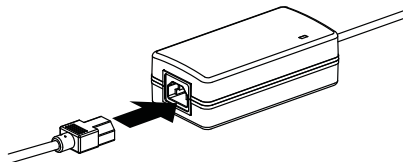
1



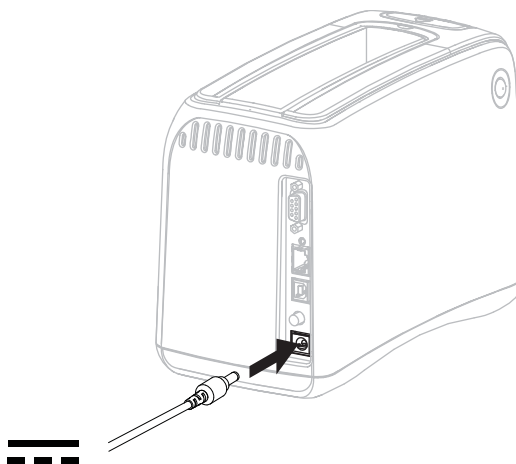
2



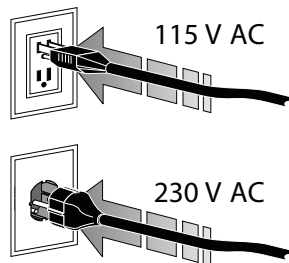
2. A/C 電源コードのメス側を電源に差し込みます。



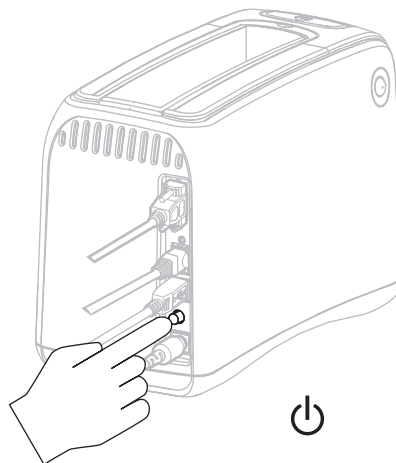
3. 低電力 D/C コードをプリンタ背面の D/C 電源コネクタに接続します。



4. A/C 電源コードのオス側を適切な電源コンセントに差し込みます。



5. プリンタの電源ボタンを押してオン (I) にします。



プリンタでセルフ・テストが実行され、コントロール・パネルで色付きのライトが順に点灯します。用紙ステータス・インジケータとプリンタ・ステータス・インジケータがオレンジで点滅し、プリンタに用紙がセットされていないことを示します。



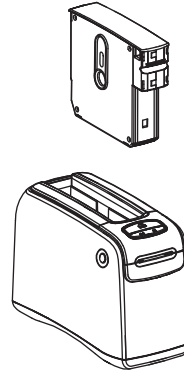


## メディア・カートリッジの挿入

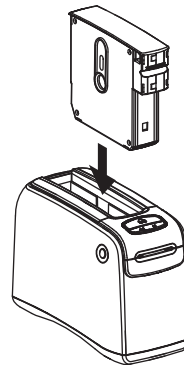
メディア・カートリッジとリストバンドの詳細については、7ページの「メディア・カートリッジとリストバンド」を参照してください。

メディア・カートリッジをセットするには、次の手順を実行します。

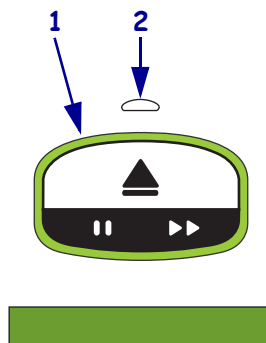
1. 図に示すようにカートリッジとプリンタの方向を定めます。



2. カートリッジをプリンタに差し込み、カチッという音がするまで押し込みます。



プリンタが印刷のためリストバンドの準備をします。新しいカートリッジの場合、プリンタ・ステータス・インジケータ **(1)** が緑になり、用紙ステータス・インジケータ **(2)** は消灯したままです。その他の用紙の状態については、22ページの「用紙ステータス・インジケータ」を参照してください。





メモ • \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



---

## トラブルシューティング

この項では、さまざまなプリンタ・ステータスランプの意味について説明します。

### 目次

用紙ステータス・インジケータ.....	22
プリンタ・ステータス・インジケータ .....	24
ワイヤレス・ステータス・インジケータ .....	29
その他の問題 .....	30

## 用紙ステータス・インジケータ

表 5 は、用紙ステータス・インジケータとプリンタ・ステータス・インジケータによる用紙レベルまたは用紙エラーの表示を示しています。ここに記載されていないランプ・シーケンスについては、24 ページの「プリンタ・ステータス・インジケータ」を参照してください。

表 5・用紙ステータス・インジケータ・ランプ


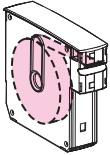

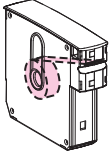

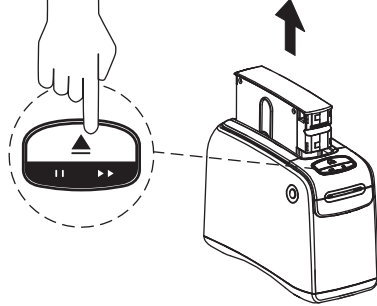
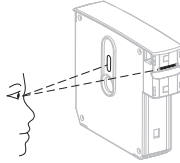
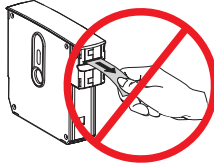
用紙ステータス・インジケータ / プリンタ・ステータス・インジケータ	意味 / 必要な操作
<p>オフ / 緑色</p> 	<p>プリンタは印刷可能です。メディア・カートリッジには、リストバンドが十分残っています。操作は不要です。</p> 
<p>オレンジ色点灯 / 緑色</p> 	<p>メディア・カートリッジの用紙レベルが低下しています (通常、リストバンド 20 枚以下)。プリンタはまだ印刷可能です。</p> <p>交換用メディア・カートリッジを注文するには、vii ページの「連絡先」を参照してください。</p> 
<p>オレンジ色点滅 / オレンジ色点滅</p> 	<p>用紙エラーが発生しました。</p> <p><b>問題を解決するには、次の手順を実行します。</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>EJECT (取り出し) ボタンを押して、メディア・カートリッジをプリンタから取り出します。</li> </ol>  <ol style="list-style-type: none"> <li>メディア・カートリッジで用紙レベルと詰まっているリストバンドを確認します。</li> </ol>  <p>(次のページに続く)</p>

表 5・用紙ステータス・インジケータ・ランプ ( 続き )

用紙ステータス・インジケータ / プリンタ・ステータス・インジケータ	意味 / 必要な操作
<p>オレンジ色点滅 / オレンジ色点滅</p> 	<p>( 前のページから続く )</p> <p>3. メディア・カートリッジの状態に応じて処理を行います。</p> <p><b>空の場合</b></p> <p>a. 空のメディア・カートリッジをお住まいの地区の規則に従って廃棄またはリサイクルします。</p> <p>b. プリンタに別のメディア・カートリッジを挿入します。</p> <p><b>空ではない場合</b></p> <p>c. メディア・カートリッジをプリンタに取り付け直します。</p> <p>d. エラーがまだ発生する場合は、メディア・カートリッジのスマート・カード接触点とメディア・カートリッジ・センサーをクリーニングします (42 ページの「スマート・カードの接触点とメディア・カートリッジ・センサー・ピンのクリーニング」を参照)。</p> <p>e. クリーニングした後もエラーが再度発生する場合は、メディア・カートリッジを交換します。</p> <p>f. 別のメディア・カートリッジでもエラーが発生する場合は、技術サポートにご連絡ください (vii ページの「連絡先」を参照)。</p> <p><b>空ではないが、リストバンドがカートリッジから突き出している、またはプリンタ内で詰まっている場合</b></p> <p>用紙がは正しく取り付けられていません。</p> <p>g. リストバンドの飛び出している部分を切り取ります。リストバンドをメディア・カートリッジから引っ張らないでください。メディア・カートリッジが破損します。</p>   <p>h. カートリッジをプリンタに取り付け直します。</p> <p>i. エラーが再度発生する場合は、メディア・カートリッジを交換します。</p> <p>j. 別のメディア・カートリッジでもエラーが発生する場合は、技術サポートにご連絡ください (vii ページの「連絡先」を参照)。</p>

## プリンタ・ステータス・インジケータ

アラートおよびエラー状態では、プリンタ・ステータス・インジケータ・ランプが点灯、点滅、または回転します。表 6 に、それぞれのランプおよびランプ・シーケンスを示します。ランプ・シーケンスの点灯の詳細については、4 ページの「コントロール・パネル・ランプ」を参照してください。

表 6・アラートおよびエラー状態のランプおよびランプ・シーケンス







ランプまたはランプ・シーケンス	意味	必要な操作
緑色点灯 	プリンタは印刷可能です。	なし
緑色回転 	プリンタはデータをダウンロード中または処理中です。	なし
緑色点灯しながら回転 	プリンタはフラッシュ・メモリのデフラグまたは初期化中です。	なし
緑色点灯、2箇所点滅 	プリンタが一時停止しています。	PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) ボタンを押して印刷を再開します。
緑色とオレンジ色点滅 	プリンタは強制ダウンロード・モードになっています。	ファームウェアをプリンタにダウンロードするか、またはプリンタの電源を入れ直して通常の印刷モードに戻ります。
半分オレンジ色、半分緑色で点灯 	プリンタはファームウェアのダウンロード後にフラッシュに書き込んでいます。	なし <b>注意</b> ・このとき、プリンタの電源を入れ直さないでください。プリンタが動作しなくなることがあります。

表 6・アラートおよびエラー状態のランプおよびランプ・シーケンス (続き)



ランプまたはランプ・シーケンス	意味	必要な操作
<p>黄色点灯</p> 	<p>EJECT (取り出し) ボタンを押したままにすると、メディア・カートリッジの強制取り出しが実行されます。ボタンを離すとプリンタからメディア・カートリッジが排出されますが、これは強制取り出しまたは通常取り出しのどちらの場合もあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>強制取り出しをキャンセルして通常どおりメディア・カートリッジを取り出すには、プリンタ・ステータス・インジケータが黄色点滅する前に EJECT (取り出し) ボタンを離します。</li> <li>強制取り出しを続行するには、プリンタ・ステータス・インジケータが黄色点滅するまで約 6 秒間、EJECT (取り出し) ボタンを押したままにします。</li> </ul> <p>強制取り出しの後、上部カバー・リリース・ボタンを押して、プリンタの上部カバーを開き、リストバンドを解放します。リストバンドをカートリッジから取り外す方法は、7 ページの「メディア・カートリッジ」を参照してください。リストバンドの残りをカートリッジから引っ張らないでください。</p>
<p>黄色点滅</p> 	<p>メディア・カートリッジの強制取り出しが保留中です。</p>	<p>EJECT (取り出し) ボタンを離して、プリンタでメディア・カートリッジの強制取り出しを行います。</p>

表 6・アラートおよびエラー状態のランプおよびランプ・シーケンス ( 続き )



ランプまたはランプ・シーケンス	意味	必要な操作
黄色点灯しながら回転 	印刷ヘッドが温度のフェイル・セーフ・モードになりました。	 注意・印刷ヘッドは高温になるため、火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリンタをオフ (O) にします。</li> <li>2. 印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。</li> <li>3. プリンタをオン (I) にします。</li> <li>4. 問題が解決されない場合は、手順 1 と 2 を繰り返して、印刷ヘッド・ケーブルが正しく接続されていることを確認します。</li> <li>5. ケーブルを確認した後でも問題が発生する場合は、技術サポートにご連絡ください (vii ページの「連絡先」を参照)。</li> </ol>



表 6・アラートおよびエラー状態のランプおよびランプ・シーケンス ( 続き )





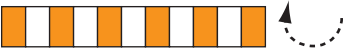

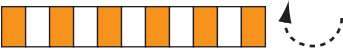

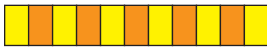
ランプまたはランプ・シーケンス	意味	必要な操作
<p>オレンジ色点灯</p> 	<p>3 秒以上点灯が続く場合、次のいずれかの状態にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 印字ヘッドの温度が低すぎる。</li> <li>• 印字ヘッドの温度が高すぎる。</li> <li>• プラテン・モーターの温度が高すぎる。</li> </ul>	<p>数分待機します。プラテン・モーターに問題がある場合は、冷却されたときに印刷が再開されます。</p> <p>印刷が再開されない場合は、次の手順を実行します。</p>  <p><b>注意</b>・印刷ヘッドは高温になるため、火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリンタの電源をオフ (O) にします。</li> <li>2. 印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。</li> <li>3. プリンタの電源をオン (I) にします。</li> <li>4. 問題が解決されない場合は、手順 1 と 2 を繰り返して、印刷ヘッド・ケーブルが正しく接続されていることを確認します。</li> <li>5. ケーブルを確認した後でも問題が発生する場合は、技術サポートにご連絡ください (vii ページの「連絡先」を参照)。</li> </ol>
<p>オレンジ色点滅</p> 	<p>用紙エラーが発生しました。</p> 	<p>22 ページの「用紙ステータス・インジケータ」を参照してください。</p>
<p>オレンジ色回転</p> 	<p>プリンタの上部カバーが開いています。</p> 	<p>上部カバーがしっかりと閉じていることを確認します。それでも問題が解決しない場合は、技術サポートに連絡してください (vii ページの「連絡先」を参照)。</p>
<p>オレンジ色回転</p> 	<p>プリンタがメディア・カートリッジを取り出そうとしているときに、リストバンドが排出の待機中でした。</p>	<p>プリンタの外側に飛び出しているリストバンドを切り取ってから、メディア・カートリッジを取り出してください。</p>

表 6・アラートおよびエラー状態のランプおよびランプ・シーケンス ( 続き )

ランプまたはランプ・シーケンス	意味	必要な操作
オレンジ色点灯、2 箇所点滅 	プリンタは次のいずれかの状態のために一時停止しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• リストバンドのフォーマット、グラフィック、フォント、ビットマップをダウンロード中に、プリンタにエラーが発生した。</li> <li>• プリンタのメモリが不足している。</li> </ul>	PAUSE/FEED ( 一時停止 / フィード ) ボタンを押して印刷を再開します。
黄色とオレンジ色点滅 	プリンタの電源投入中に PAUSE/FEED ( 一時停止 / フィード ) ボタンが押されました。プリンタは強制ダウンロード・モードを開始できます。	このランプが点滅する 3 秒以内に PAUSE/FEED ( 一時停止 / フィード ) ボタンを離すと、強制ダウンロード・モードになります。PAUSE/FEED ( 一時停止 / フィード ) ボタンを 3 秒以上押し続けたままにすると、プリンタは通常通り起動されます。

## ワイヤレス・ステータス・インジケータ

表 7 は、ワイヤレス・ステータス・インジケータ・ランプの意味を説明しています。ワイヤレス・プリント・サーバの詳細については、『ZebraNet ワイヤレス・プリント・サーバ・ユーザー・ガイド』を参照してください。お客様のプリンタに付属の CD にマニュアルのコピーが収録されています。また、<http://www.zebra.com/manuals> から利用できます。

表 7・ワイヤレス・ステータス・インジケータ・ランプ

ワイヤレス・ステータス・インジケータ	意味
<p>緑色点灯</p> 	<p>プリンタはワイヤレス・ネットワークに接続されています。信号強度は良好です。</p>
<p>緑色点滅</p> 	<p>プリンタはワイヤレス・ネットワークに接続されていません。信号強度は良好です。</p>
<p>オレンジ色点灯</p> 	<p>プリンタはワイヤレス・ネットワークに接続されています。信号強度は弱いです。</p>
<p>オレンジ色点滅</p> 	<p>プリンタはワイヤレス・ネットワークに接続されていません。信号強度は弱いです。</p>
<p>オフ</p> 	<p>無線ネットワークが見つからないと、無線ステータスのインジケータがオフになります。</p>

## その他の問題

表 8 では、ステータス・インジケータでは示されない状態のトラブルシューティングを説明します。

表 8 • その他の問題

問題	意味 / 必要な操作
データがリストバンドの最初の部分に印刷されない。	各リストバンドの先頭には印刷できません。 リストバンドのフォーマットを再設計して、推奨される印刷領域に合うようにします。11 ページの「 <a href="#">リストバンドの印刷領域</a> 」を参照してください。
リストバンドの一部のセクションにデータがきちんと印刷されない。	コーティングされていない面、穴の上、またはスコア上への印刷は、品質に影響します。 リストバンドのフォーマットを再設計して、推奨される印刷領域に合うようにします。11 ページの「 <a href="#">リストバンドの印刷領域</a> 」を参照してください。
印刷濃度が非常に高い。	感熱用紙は温度に敏感であるため、この問題は周囲の温度が高く、相対湿度が高い環境で発生する可能性があります。 温度または湿度が極めて高い状態にある間は、より低い濃度値を使用します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>濃度モードをユーザーまたは相対に設定します。48 ページの「<a href="#">濃度モードの選択</a>」を参照してください。</li> <li>印刷濃度値をより低い値に設定します。49 ページの「<a href="#">印字濃度を調整する。</a>」を参照してください。</li> </ol>

表 8・その他の問題 ( 続き )

問題	意味 / 必要な操作
<p>特定のメディア・カートリッジからリストバンドがセットされない。</p>	<p>プリンタがメディア・カートリッジを検出できませんでした。</p> <p>メディア・カートリッジのスマート・カード接触点とメディア・カートリッジ・センサーのピンをクリーニングします (42 ページの「スマート・カードの接触点とメディア・カートリッジ・センサー・ピンのクリーニング」を参照)。</p> <p>メディア・カートリッジが破損しています。これは、リストバンドをメディア・カートリッジから引っ張ったときに発生します。</p> <p>購入時にメディア・カートリッジが破損していると思われる場合は、Zebra 公認の再販業者にお問い合わせください。または、メディア・カートリッジを廃棄またはリサイクルします。交換用メディア・カートリッジを注文するには、vii ページの「連絡先」を参照してください。</p> <p>メディア・カートリッジが再充填されています。Zebra™ の純正サブライ品のみをプリンタでお使いいただけます。</p> <p>メディア・カートリッジを廃棄またはリサイクルします。交換用メディア・カートリッジを注文するには、vii ページの「連絡先」を参照してください。</p>
<p>どのメディア・カートリッジからもリストバンドがセットされない。</p>	<p>プリンタがメディア・カートリッジを検出できませんでした。</p> <p>メディア・カートリッジ・センサーのピンをクリーニングします (42 ページの「スマート・カードの接触点とメディア・カートリッジ・センサー・ピンのクリーニング」を参照)。問題が解決しない場合は、資格のあるサービス技師にプリンタの修理を依頼します。</p>
<p>リストバンドが相次いで詰まる、または正しくセットされない。</p>	<p>プリンタがリストバンド背面の黒マークを認識していない可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. メディア・カートリッジを交換します。</li> <li>2. 別のメディア・カートリッジでも問題が発生する場合は、資格のあるサービス技師に確認させ、メディア・センサーを交換します。</li> </ol>

表 8・その他の問題 ( 続き )

問題	意味 / 必要な操作
<p>プリンタがメディア・カートリッジを排出しない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリンタの電源をオフ (O) にしてからオン (I) にします。</li> <li>2. 問題が解決しない場合は、強制取り出しを実施します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. EJECT ( 取り出し ) ボタンを 6 秒以上押したままにします。プリンタ・ステータス・インジケータが 2 秒後に黄色になり、その 6 秒後に黄色で点滅します。</li> <li>b. プリンタ・ステータス・インジケータが点滅したら、EJECT ( 取り出し ) ボタンを離します。</li> <li>c. 上部カバーのリリース・ボタンを押して、プリンタの上部カバーを開き、リストバンドを解放します。</li> <li>d. リストバンドをカートリッジから取り外す方法は、7 ページの「メディア・カートリッジ」を参照してください。リストバンドの残りをカートリッジから引っ張らないでください。</li> <li>e. 上部カバーを閉じます。</li> </ol> </li> <li>3. それでも問題が解決しない場合は、技術サポートに連絡してください (vii ページの「連絡先」を参照)。</li> </ol>
<p>プリンタが過熱する。</p>	<p>通気が不適切な場合に、プリンタが過熱します。プリンタの周囲に空きスペースがあることを確認します。プリンタは平らな水平面に設置します。プリンタの上に物を置かないでください。</p>



---

## 定期的なメンテナンス

この項では、定期的なクリーニング手順およびリサイクル情報について説明します。

### 目次

用紙経路のクリーニング.....	34
清浄カードの使用.....	34
綿棒の使用.....	36
スマート・カードの接触点とメディア・カートリッジ・センサー・ピンのクリーニング.....	42
プリンタのコンポーネントの取替え.....	44
交換部品の注文.....	44
プリンタのコンポーネントのリサイクル.....	44
潤滑油.....	44

## 用紙経路のクリーニング

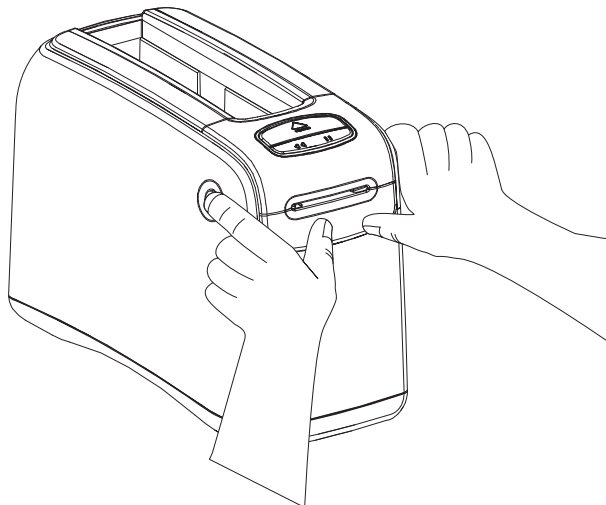
最良の結果を得るには、用紙の各カートリッジを使用した後に用紙経路をクリーニングしてください。用紙経路は、清浄カードや綿棒を使用してクリーニングします。

### 清浄カードの使用

清浄カードは、パーツ番号 61332M で注文してください。注文方法については、[vii ページの「連絡先」](#)を参照してください。

清浄カードを使用して用紙経路をクリーニングするには、次の手順を実行します。

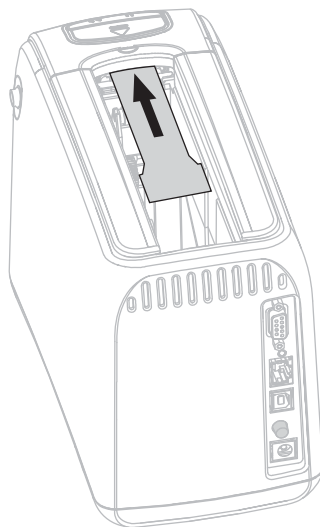
1. EJECT (取り出し) を押して、メディア・カートリッジをプリンタから取り出します。
2. プリンタの電源をオフ (O) にします。
3. 清浄カードをパッケージから取り出します。
4. 上部カバーのリリース・ボタンを両方同時に押します。



上部カバーが少しだけ開きます。



5. 6 mm (1/4 インチ) がプリンタの前面から見えるまで、清浄カードを図のように用紙シュートに挿入します。



6. 上部カバーを閉じます。
7. EJECT を押したままにします。
8. プリンタの電源をオン (I) にします。
9. EJECT をプリンタの電源が入るまで約 15 秒間押したままにして、セルフ・テストを実行します。
10. 清浄カードが動き始めたら、EJECT を離します。  
プリンタは清浄カードを使用して用紙経路をクリーニングします。



11. **注意**・清浄カードにはイソプロピル・アルコールが含まれており、これは可燃性です。使用後は、お住まいの地区の基準に従って廃棄してください。

カードが停止して元の位置に戻ったら、クリーニングは完了です。  
クリーニングが完了したら、清浄カードを取り外して廃棄します。

12. メディア・カートリッジを再度取り付けます。

## 綿棒の使用

予防メンテナンス・キット ( パーツ番号 47362 ) の綿棒、またはイソプロピル・アルコール (90% 以上) と脱イオン水 (10% 以下) の溶液に浸した綿棒を使用します。

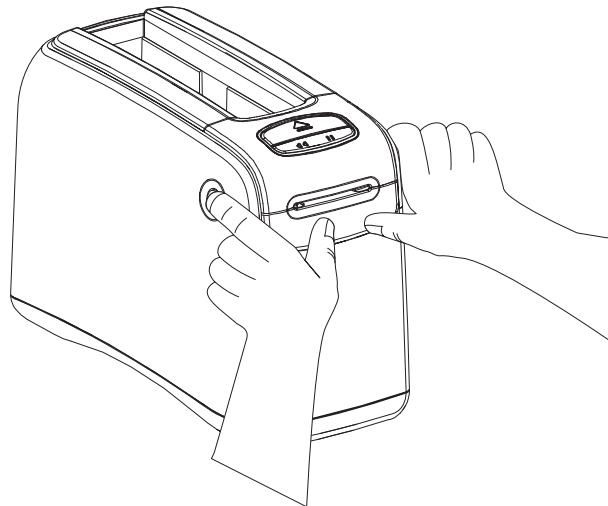
**注意**・指輪、腕時計、ネックレス、ID バッジ、その他金属製のものは、印刷ヘッドに触れたりメディア・カートリッジ・スロットに落ちたりすることを防ぐため、すべて外してください。



**注意**・作業を進める前に、プリンタの電源スイッチ付近の金属バックプレートに触るか静電気除去リスト・ストラップとマットを使用するなどして、蓄積した静電気をすべて除去してください。

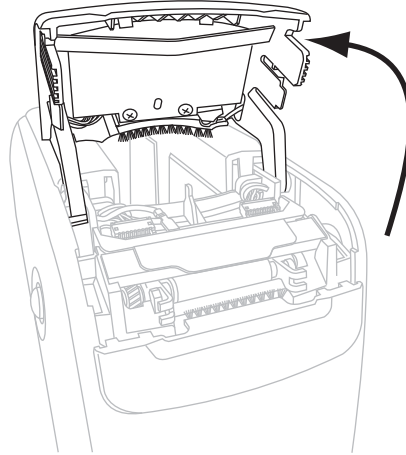
綿棒を使用して用紙経路をクリーニングするには、次の手順を実行します。

1. EJECT ( 取り出し ) ボタンを押して、メディア・カートリッジをプリンタから取り出します。
2. プリンタの電源をオフ ( **O** ) にします。
3. 上部カバーのリリース・ボタンを両方同時に押します。



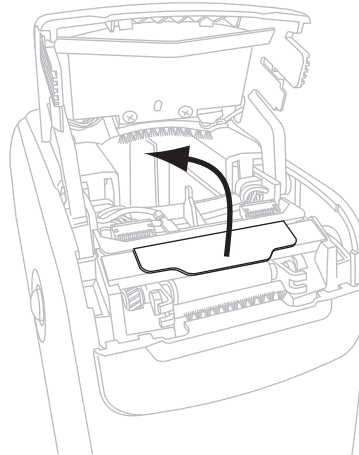
上部カバーが少しだけ開きます。

4. 上部カバーを持ち上げて向こう側に開きます。



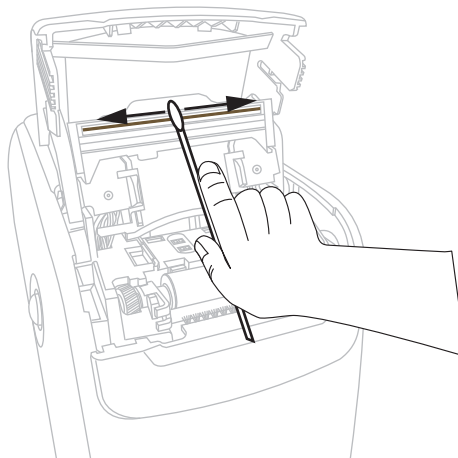
5. **注意**・印刷ヘッドは高温になるため、火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。

印刷ヘッド・アセンブリの金属製のレバー・プレートを持ち、アセンブリを上向きに回転させて印刷ヘッド・エレメントが見えるようにします。



6. 印字ヘッド・エレメントをクリーニングします。

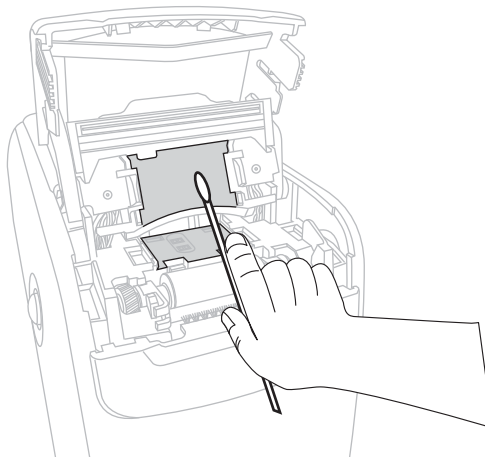
- a. 予防メンテナンス・キットの綿棒、またはアルコール溶液に浸した綿棒を使用して、印刷ヘッド・アセンブリ上の茶色い帯を端から端まで拭き取ります。



- b. 溶液が蒸発するまでお待ちください。

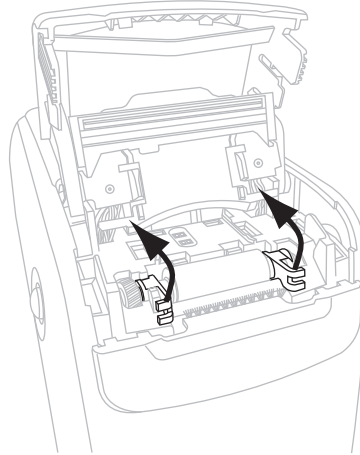
7. 用紙ガイド表面をクリーニングします。

- a. 綿棒を使用して、用紙シュートの表面をふき取ります。

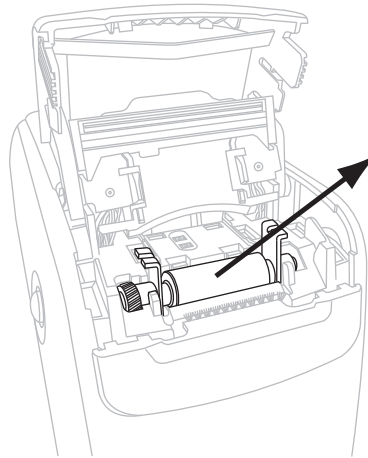


- b. 溶液が蒸発するまでお待ちください。

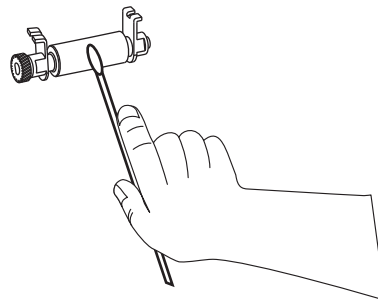
8. プラテン・ローラーの両側のクリップを上向きに回転させます。



9. プラテン・ローラーをプリンタから取り外します。

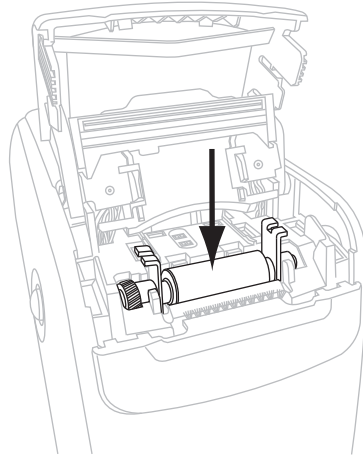


10. プラテン・ローラーをクリーニングします。  
a. 綿棒を使用して、プラテン・ローラーをきれいにクリーニングしてください。

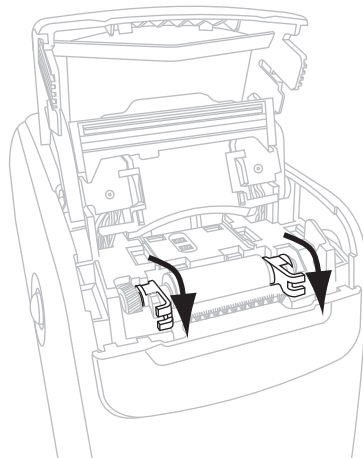


- b. 溶液が蒸発するまでお待ちください。

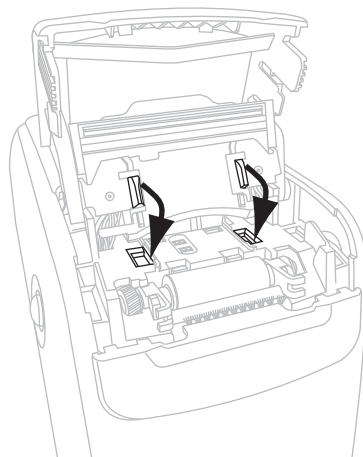
11. プラテン・ローラーをプリンタの元の位置に戻します。



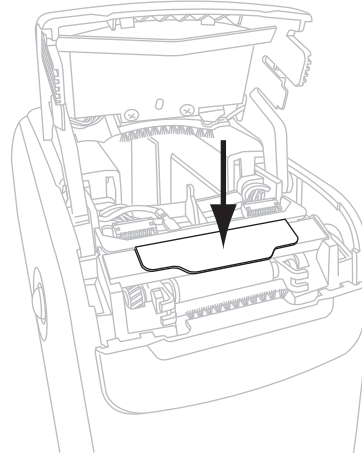
12. プラテン・ローラーの両側のクリップを回転させて固定します。



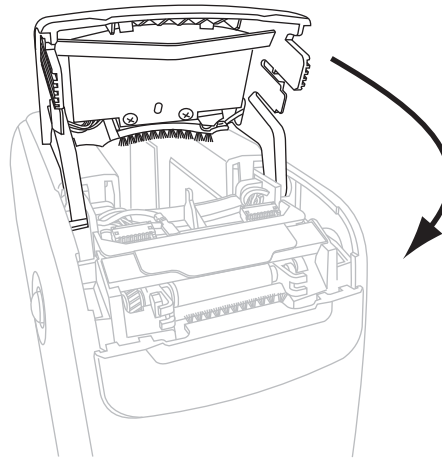
13. 用紙シュートの下部のスナップ・タブをプリンタ・シャーシのスロットに合わせます。



14. 金属製のレバー・プレートを下に押し込んで、印刷ヘッド・アセンブリを定位置に固定します。



15. 上部カバーを閉じます。



16. プリンタの電源をオン (I) にします。  
17. メディア・カートリッジを再度取り付けます。  
18. 使用済みの綿棒を廃棄します。

## スマート・カードの接触点とメディア・カートリッジ・センサー・ピンのクリーニング

メディア・カートリッジを5つ使用したら、その度にメディア・カートリッジ・センサー・ピンをクリーニングして、メディア・カートリッジ上のスマート・カードとの接触点で良好な接触が得られるようにします。プリンタでメディア・カートリッジが認識されない場合、メディア・カートリッジ・センサー・ピンとカートリッジのスマート・カードの接触点をクリーニングすると、問題が解決されることがあります。予防メンテナンス・キット ( パーツ番号 47362 ) の綿棒、またはイソプロピル・アルコール (90% 以上) と脱イオン水 (10% 以下) の溶液に浸した綿棒を使用します。

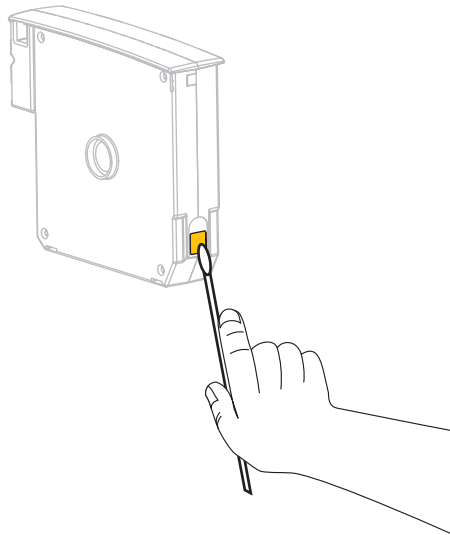
**注意**・指輪、腕時計、ネックレス、ID バッジ、その他金属製のものは、印刷ヘッドに触れたりメディア・カートリッジ・スロットに落ちたりすることを防ぐため、すべて外してください。



**注意**・作業を進める前に、プリンタの電源スイッチ付近の金属バックプレートに触るか静電気除去リスト・ストラップとマットを使用するなどして、蓄積した静電気をすべて除去してください。

スマート・カード接触点とメディア・カートリッジ・センサー・ピンをクリーニングするには、次の手順を実行します。

1. EJECT (取り出し) ボタンを押して、メディア・カートリッジをプリンタから取り出します。
2. プリンタの電源をオフ (O) にします。
3. 低電力 D/C コードをプリンタ背面の D/C 電源コネクタから取り外します。
4. 予防メンテナンス・キットの綿棒、またはアルコール溶液に浸した綿棒を使用して、メディア・カートリッジ背面の金色のスマート・カード接触点をクリーニングします。溶液が蒸発するまでお待ちください。

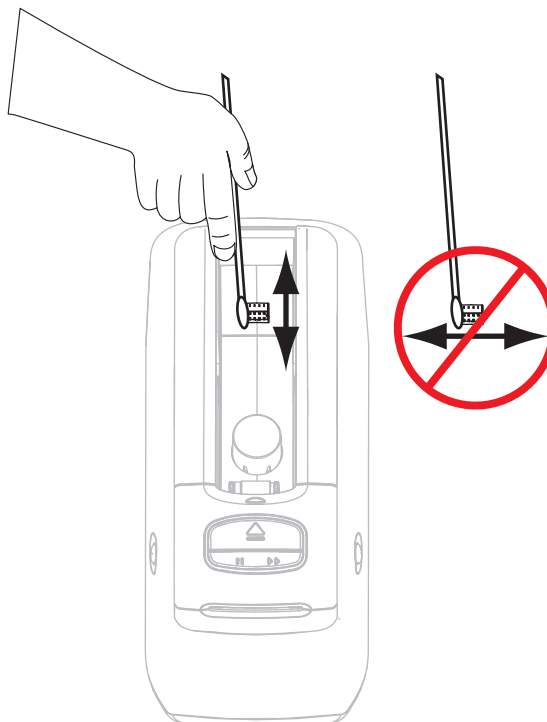




5. **注意**・メディア・カートリッジ・センサー・ピンは、綿棒を上下に動かして拭き取ってください。横方向に綿棒を使用すると、ピンが破損します。

メディア・カートリッジ・センサー・ピンをクリーニングします。

- a. 綿棒を上下に動かして、金色のメディア・カートリッジ・センサー・ピンをクリーニングします。ピンは、メディア・カートリッジ・スロットの背面にあります。



- b. 溶液が蒸発するまでお待ちください。

6. 低電力 D/C コードをプリンタ背面の D/C 電源コネクタに接続します。
7. プリンタの電源をオン (I) にします。
8. メディア・カートリッジを再度取り付けます。
9. 使用済みの綿棒を廃棄します。

## プリンタのコンポーネントの取替え

印刷ヘッドやプラテン・ローラーなど、一部のプリンタ・コンポーネントは時間とともに消耗しますが、簡単に取替えられます。定期的なクリーニングすることで、このようなコンポーネントの寿命を延ばすことができます。

### 交換部品の注文

製品ライン全体で最適な印刷品質と適切なプリンタ・パフォーマンスを得るため、Zebra では Zebra™ 純正のサプライ品をトータル・ソリューションの一部として使用することを強くお勧めします。

部品の注文情報については、認定された Zebra 販売代理店にお問合せください。連絡先および電話番号については、[vii ページの「連絡先」](#)を参照してください。

### プリンタのコンポーネントのリサイクル



このプリンタ・コンポーネントは、ほとんどリサイクルできます。プリンタ・コンポーネントは地方自治体の廃棄物処理に従って処分してください。プリンタ・コンポーネントはお住まいの地区の基準に従ってリサイクルを行ってください。詳細につきましては、<http://www.zebra.com/environment> を参照してください。

## 潤滑油

このプリンタには潤滑油は不要です。

---

**注意**・市販の潤滑油をこのプリンタに使用すると、塗装や機械部品を損傷する可能性があります。

---



---

## 上級ユーザー向け情報

この項では、上級ユーザーまたはサービス技師専用の情報および手順を記載しています。

### 目次

プリンタ設定の表示.....	46
プリンタ設定リストバンド.....	46
プリンタの <b>Web</b> ページから.....	47
プリンタの設定の変更と復元.....	48
プリント・サーバ設定の設定、変更、復元.....	56
最初の接続.....	56
接続後のパラメータの変更.....	56
<b>Web</b> ページ.....	59
その他の診断ツール.....	61
用紙センサー・プロフィール.....	61
通信診断テスト.....	62
ファームウェアのダウンロード.....	63

## プリンタ設定の表示

プリンタ設定リストバンドには、接続設定についてなど、プリンタの基本情報の一部が記載されています。プリンタにイーサネット配線またはワイヤレス接続が有効になっている場合、プリンタの Web ページからすべてのプリンタ設定を表示できます。

### プリンタ設定リストバンド

プリンタ設定リストバンド ( 図 11 ) には、プリンタの接続設定とリストバンド切り取り位置が表示されます。[IP ADDRESS] および [MAC ADDRESS] フィールドには、プリント・サーバが有線またはワイヤレスで接続されている場合にのみ値が表示されます。[USB COMM] フィールドは、プリンタが USB コネクタでコンピュータに接続されている場合のみ表示されます。

図 11 • プリンタ設定リストバンドのサンプル

PRINTER CONFIGURATION	
+000.....	TEAR OFF
CONNECTED.....	USB COMM.
9600,B,N,2,X,N,^,^,	SERIAL COMM.
ZV54.16.0Z<-.....	FIRMWARE
000.000.000.000.....	IP ADDRESS
000000000000	MAC ADDRESS
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

プリンタ設定リストバンドを印刷するには、次の手順を実行します。

1. プリンタの電源がオン (I) で、印刷準備ができていることを確かめます。
2. PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) ボタンを、プリンタのステータス・インジケータの緑色のランプが消灯し、オレンジ色のランプが 1 回点滅するまで押したままにします。
3. PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) ボタンを離します。  
プリンタ設定リストバンドが印刷されます。

## プリンタの Web ページから

[View Printer Configuration (プリンタの設定表示) Web ページを、[図 12](#) に示します。このページは、プリンタのホーム・ページの [View Printer Configuration (プリンタの設定表示)] をクリックするとアクセスできます。Web ページの詳細については、[59 ページの「Web ページ」](#)を参照してください。

**図 12 • [View Printer Configuration (プリンタの設定表示) ] Web ページ (プリンタのデフォルト値を表示)**

```

View Printer Configuration

2012-06-07 18:42:25      TIME STAMP
JDI017539.11BHG080125.61600-011.K.11
+22                      DARKNESS
CARTRIDGE                DARKNESS MODE
4 IPS                    PRINT SPEED
300                      PRINT WIDTH
+000                     TEAR OFF
2862                     LABEL LENGTH
39.0IN  988MM           MAXIMUM LENGTH
NOT CONNECTED           USB COMM.
RS232                    SERIAL COMM.
115200                   BAUD
8 BITS                   DATA BITS
NONE                     PARITY
RTS/CTS                  HOST HANDSHAKE
NONE                     PROTOCOL
000                      NETWORK ID
NORMAL MODE              COMMUNICATIONS
<~> 7EH                 CONTROL PREFIX
<^> 5EH                 FORMAT PREFIX
<,> 2CH                 DELIMITER CHAR
ZPL II                   ZPL MODE
INACTIVE                 COMMAND OVERRIDE
+000                     LABEL TOP
+0000                    LEFT POSITION
DISABLED                  REPRINT MODE
DISABLED                  ZBI
2.1                      ZBI VERSION
DPSWFXM                  MODES ENABLED
.....                  MODES DISABLED
672 12/MM FULL           RESOLUTION
V54.17.122P07 <-        FIRMWARE
1.3                      XML SCHEMA
V39 ----- 36          HARDWARE ID
002                      CART DATA VER
CUSTOMIZED               CONFIGURATION
10368k.....R:           RAM
2048k.....E:            ONBOARD FLASH
NONE                    FORMAT CONVERT
1,894 IN                 NONRESET CNTR
630 IN                   RESET CNTR1
630 IN                   RESET CNTR2
4,810 CM                 NONRESET CNTR
1,600 CM                 RESET CNTR1
1,600 CM                 RESET CNTR2
    
```



**重要** • [Print on Label (ラベルに印刷)] オプションを選択すると、プリンタ設定リストバンドが印刷されます ([46 ページの図 11](#) を参照)。

## プリンタの設定の変更と復元

デフォルトで、プリンタは挿入したメディア・カートリッジの種類に応じて設定を自動調整します。通常は、これらの設定を調整する必要はありません。必要に応じて、印刷品質を最適化したり接続パラメータを変更したりする場合に印刷設定を変更します。Zebra プログラム言語 II (ZPL II) コマンド、Set/Get/Do (SGD) コマンド、またはプリンタの Web ページを使用して変更します。プリンタの Web ページにアクセスするには、プリンタが有線またはワイヤレスでイーサネット接続されている必要があります。

ZPL コマンドと SGD コマンドの場合は、『ZPL II プログラミング・ガイド』を参照してください。お客様のプリンタに付属の CD にマニュアルのコピーが収録されています。また、<http://www.zebra.com/manuals> から利用できます。Web ページの詳細については、59 ページの「Web ページ」を参照してください。

表 9 に、プリンタ・パラメータと変更方法を示します。

表 9・プリンタ・パラメータ

パラメータ	詳細
インジ _ ノト _ モト	<p><b>濃度モードの選択</b></p> <p>プリンタには 3 つの濃度モードがあり、濃度値の設定方法を指定できます。          デフォルト値: カートリッジ          選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カートリッジ濃度はメディア・カートリッジのデフォルト値に設定されます。変更することはできず、プリンタは濃度値を変更する ZPL コマンドを無視します。</li> <li>ユーザー濃度はユーザーによって設定され、プリンタはメディア・カートリッジのデフォルト値を無視します。この濃度値は、プリンタに挿入されたすべてのメディア・カートリッジに使用されます。</li> <li>相対濃度は現在の濃度設定と現在のメディア・カートリッジのデフォルト値の差として保存されます。プリンタは、この差をその後に追加したメディア・カートリッジのデフォルトの濃度値に加算します。</li> </ul> <p>対応する ZPL コマンド: なし          対応する SGD コマンド: <code>media.darkness_mode</code>          Web ページの場所: 基本設定</p>

表 9・プリンタ・パラメータ ( 続き )


パラメータ	詳細
インジ _ ノト	<p>印字濃度を調整する。                      リストバンドの印字が薄すぎる、または濃すぎる場合は、濃度設定を変更します。</p> <p> <b>重要</b>・最適なイメージ耐久性を保持するには、濃度を最高に設定すると、印字品質とバー・コードの読み取りが良好になります。濃度の設定が高すぎると、バー・コードを読み取れなかったり、印刷ヘッドの摩耗を早めてしまう場合があります。</p> <p>デフォルト値: この値は、濃度モードと使用されるメディア・カートリッジによって異なります。通常、この値は+21です。</p> <p>対応する ZPL コマンド: ~SD、^MD (濃度モードがユーザーまたは相対に設定されている場合に使用可能。濃度モードがカートリッジに設定されている場合は無視される)</p> <p>対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: 基本設定</p>
インジ _ ハ	<p>印字幅の設定                      このパラメータは、プリンタ・カートリッジが自動設定します。変更はできません。</p> <p>^PW ZPL II コマンドは無視されます。</p> <p>Web ページの場所: 用紙設定 ( 表示のみ )</p>
クリリ _ モト	<p>切り取り位置を調整します。                      このパラメータは、印刷後のリストバンドの静止位置を調整します。数値が大きいとリストバンドはプリンタから離れ、数値が小さいとリストバンドはプリンタに近くなります。</p> <p>デフォルト値: +0</p> <p>範囲: +0 ~ +120</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^TA</p> <p>対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: 基本設定</p>
ラハルチヨ	<p>リストバンド長の設定                      このパラメータは、プリンタ・カートリッジが自動設定します。変更はできません。</p> <p>^LL ZPL II コマンドは無視されます。</p>
サイドイ _ ヨシチヨ	<p>リストバンドの最大長の設定                      このパラメータは、プリンタ・カートリッジが自動設定します。変更はできません。</p> <p>^ML ZPL II コマンドは無視されます。</p> <p>Web ページの場所: ヨシ _ セッテイ ( 表示のみ )</p>

表 9・プリンタ・パラメータ ( 続き )

パラメータ	詳細
シリアル	<p><b>シリアル通信の設定</b></p> <p>ホスト・コンピュータが使用しているポートに一致する通信ポートを選択します。この設定は、シリアル・ポートが使用されている場合のみに適用されます。</p> <p>デフォルト値: RS232</p> <p>選択肢: RS232、RS485 マルチ DROP</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^SC</p> <p>対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: シリアル通信設定</p>
ボーレート	<p><b>ボーレートの設定</b></p> <p>この設定は、シリアル・ポートが使用されている場合のみに適用されます。正確な通信を行うためには、プリンタのボーレート設定とホスト・コンピュータのボーレート設定が一致する必要があります。ホスト・コンピュータが使用しているボーレートに一致する値を選択してください。</p> <p>デフォルト値: 9600</p> <p>選択肢: 300, 600, 1200, 2400, 4800, 9600, 14400, 19200, 28800, 38400, 57600, 115200</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^SC</p> <p>対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: シリアル_ツウシン_セッテイ</p>
データ_ビット	<p><b>データ・ビットの設定</b></p> <p>この設定は、シリアル・ポートが使用されている場合のみに適用されます。正確な通信を行うためには、プリンタのデータ・ビットとホスト・コンピュータのデータ・ビットが一致する必要があります。ホスト・コンピュータが使用している設定に一致するデータ・ビットを選択してください。</p> <p>デフォルト値: 8 ビット</p> <p>選択肢: 7 ビット、8 ビット</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^SC</p> <p>対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: シリアル通信設定</p>
パリティ	<p><b>パリティの設定</b></p> <p>この設定は、シリアル・ポートが使用されている場合のみに適用されます。正確な通信を行うためには、プリンタのパリティとホスト・コンピュータのパリティが一致する必要があります。ホスト・コンピュータが使用している設定に一致するパリティを選択してください。</p> <p>デフォルト値: なし</p> <p>選択肢: 偶数、奇数、なし</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^SC</p> <p>対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: シリアル通信設定</p>



表 9・プリンタ・パラメータ ( 続き )

パラメータ	詳細
フロー_セタイ <sup>o</sup>	<p><b>フロー制御の設定</b></p> <p>この設定は、シリアル・ポートが使用されている場合のみに適用されます。通信を行うためには、プリンタのフロー制御プロトコルとホスト・コンピュータのフロー制御プロトコルが一致する必要があります。ホスト・コンピュータが使用している設定に一致するフロー制御プロトコルを選択してください。</p> <p>デフォルト値 : XON/XOFF                      選択肢 : XON/XOFF、DTR/DSR、RTS/CTS                      対応する ZPL コマンド : ^SC                      対応する SGD コマンド : なし                      Web ページの場所 : シリアル通信設定</p>
プロトコル	<p><b>プロトコルの設定</b></p> <p>プロトコルとは、一種のエラー・チェック・システムです。選択したプロトコルによっては、データを受信したことを示すインジケータがプリンタからホスト・コンピュータに送信される場合があります。ホスト・コンピュータが必要とするプロトコルを選択してください。プロトコルの詳細は、『ZPL II プログラミング・ガイド』で説明されています。</p> <p>デフォルト値 : なし                      選択肢 : なし、ZEBRA、ACK_NACK                      対応する ZPL コマンド : ^SC                      対応する SGD コマンド : なし                      Web ページの場所 : シリアル通信設定</p>
ネットワーク ID	<p><b>ネットワーク ID の設定</b></p> <p>このパラメータは、プリンタが RS422/485 マルチドロップ・ネットワーク環境で動作しているときに、プリンタに一意の番号を割り当てます ( 外部 RS422/485 アダプタが必要 )。これによって、ホスト・コンピュータは特定のプリンタを指定できるようになります。これは TCP/IP または IPX ネットワークには影響しません。</p> <p>デフォルト値 : 000                      範囲 : 000 ~ 999                      対応する ZPL コマンド : ^NI                      対応する SGD コマンド : なし                      Web ページの場所 : シリアル通信設定</p>
ツウシ	<p><b>通信診断モードの設定</b></p> <p>通信診断モードは、プリンタとホスト・コンピュータの内部接続を確認するためのトラブルシューティング・ツールです。詳細については、<a href="#">62 ページの「通信診断テスト」</a>を参照してください。</p> <p>デフォルト値 : 通常モード                      選択肢 : 通常モード、診断モード                      対応する ZPL コマンド : ~JD で開始、~JE で停止                      対応する SGD コマンド : なし                      Web ページの場所 : なし</p>

表 9・プリンタ・パラメータ ( 続き )

パラメータ	詳細
コントロール PREFIX	<p><b>コントロール・プレフィックス文字の設定</b></p> <p>プリンタでは、ZPL/ZPL II コントロール命令の開始を示す、2 桁の 16 進文字が検索されます。</p> <p> <b>注記</b>・コントロール文字、フォーマット文字、またはデリミタ文字に同じ 16 進の値を使用しないでください。プリンタが正しく機能するには、それぞれ別の文字を使用する必要があります。</p> <p>デフォルト値: 7E ~ 範囲: 00 ~ FF</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^CT または ~CT 対応する SGD コマンド: なし Web ページの場所: ZPL コントロール</p>
フォーマット PREFIX	<p><b>フォーマット・プレフィックス文字の設定</b></p> <p>フォーマット・プレフィックスとは、ZPL/ZPL II フォーマット命令内でパラメータのプレース・マーカースとして使用される 2 桁の 16 進値です。プリンタでは、ZPL/ZPL II フォーマット命令の開始を示す、16 進文字が検索されます。詳細については、『ZPL II プログラミング・ガイド』を参照してください。</p> <p> <b>注記</b>・コントロール文字、フォーマット文字、またはデリミタ文字に同じ 16 進の値を使用しないでください。プリンタが正しく機能するには、それぞれ別の文字を使用する必要があります。</p> <p>デフォルト値: 5E ^ 範囲: 00 ~ FF</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^CC または ~CC 対応する SGD コマンド: なし Web ページの場所: ZPL コントロール</p>
デリミタ_モジ	<p><b>デリミタ文字の設定</b></p> <p>デリミタ文字とは、ZPL/ZPL II フォーマット命令内でパラメータのプレース・マーカースとして使用される 2 桁の 16 進値です。詳細については、『ZPL II プログラミング・ガイド』を参照してください。</p> <p> <b>注記</b>・コントロール文字、フォーマット文字、またはデリミタ文字に同じ 16 進の値を使用しないでください。プリンタが正しく機能するには、それぞれ別の文字を使用する必要があります。</p> <p>デフォルト値: 2C , 範囲: 00 ~ FF</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^CD または ~CD 対応する SGD コマンド: なし Web ページの場所: ZPL コントロール</p>



表 9・プリンタ・パラメータ ( 続き )

パラメータ	詳細
ZPL モード <sup>*</sup>	<p><b>ZPL モードの選択</b></p> <p>プリンタのモードは、このパラメータまたは ZPL/ZPL II コマンドによって変更されるまで、選択されたモードのままになります。プリンタは ZPL または ZPL II で記述されたリストバンド・フォーマットを受け入れ、既存の ZPL フォーマットを書き換える必要はありません。</p> <p>デフォルト値: ZPL II</p> <p>範囲: ZPL II、ZPL</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^SZ</p> <p>対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: ZPL_コントロール</p>
Y インジ _ キテン	<p><b>Y 印字基点の調整</b></p> <p>このパラメータは、リストバンドの縦方向の印字位置を調整します。正の数を指定すると、指定したドット数だけリストバンドの Y 字基点が下側 ( 印字ヘッドから離れて ) に調整されます。負の数を指定すると、リストバンドの Y 字基点が上側 ( 印字ヘッド側 ) に調整します。</p> <p>デフォルト値: +000</p> <p>範囲: +000 ~ +120 ドット</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^LT</p> <p>対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: 基本設定</p>
X インジ _ キテン	<p><b>X 印字基点の調整</b></p> <p>このパラメータは、リストバンドの横方向の印字位置を調整します。正の数を指定すると、指定したドット数だけ印刷が左側に調整されます。負の数を指定すると、印刷が右側に移動します。</p> <p>デフォルト値: 0000</p> <p>範囲: -9999 ~ +9999 ドット</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^LS</p> <p>対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: 用紙設定</p>
サイハッコウ _ モード <sup>*</sup>	<p><b>再発行モードの有効化</b></p> <p>再発行モードが有効になると、エラー状況を解決した後に最後のリストバンドが再発行されます。</p> <p>デフォルト値: 無効</p> <p>選択肢: 有効、無効</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^JZ</p> <p>対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: なし</p>

表 9・プリンタ・パラメータ ( 続き )

パラメータ	詳細
ZBI	<p><b>ZBI 2.0 の実行</b>            プリンタの初期設定で ZBI 2.0 が有効になっていない場合、ZBI 2.0 を使用するには、ZBI 2.0 アクティベーション・キーを購入する必要があります。詳細は Zebra 販売会社に連絡してください。            デフォルト値: 停止 ( 無効 )            選択肢: 開始 ( 有効 )、停止 ( 無効 )            対応する ZPL コマンド: ^JI または ~JI で開始、~JQ で停止            対応する SGD コマンド: zbi.control.run で開始、zbi.control.terminate で停止            Web ページの場所: なし</p>
フォーマット_コンバート	<p><b>フォーマットのコンバートの選択</b>            ビットマップ倍率を選択します。最初の数字は 1 インチあたりの元のドット数 (dpi) で、2 番目の数字はコンバート後の dpi を示します。            デフォルト値: なし            選択肢: なし、150 → 300、150 → 600、200 → 600、300 → 600            対応する ZPL コマンド: ^MU            対応する SGD コマンド: なし            Web ページの場所: 応用設定</p>
リセット_カウンタ	<p><b>リセットできないカウンタの表示</b>            このパラメータは、プリンタが印刷した用紙の合計の長さを表示します。ZPL コマンドを使用して、このカウンタの測定単位を変更できます。            対応する ZPL コマンド: ~HQ で表示、^MU で測定単位を変更            対応する SGD コマンド: odometer.total_print_length            Web ページの場所: なし</p>
リセット_カウンタ 1	<p><b>ユーザー制御カウンタ 1 を表示します。</b>            このパラメータは、パラメータを最後にリセットしてからプリンタが印刷した用紙の合計の長さを表示します。ZPL コマンドを使用して、このカウンタの測定単位を変更して、リセットできます。            対応する ZPL コマンド: ~HQ で表示、~RO でリセット、^MU で測定単位を変更            対応する SGD コマンド: odometer.media_marker_count1            Web ページの場所: なし</p>
リセット_カウンタ 2	<p><b>ユーザー制御カウンタ 2 を表示します。</b>            このパラメータは、パラメータを最後にリセットしてからプリンタが印刷した用紙の合計の長さを表示します。ZPL コマンドを使用して、このカウンタの測定単位を変更して、リセットできます。            対応する ZPL コマンド: ~HQ で表示、~RO でリセット、^MU で測定単位を変更            対応する SGD コマンド: odometer.media_marker_count2            Web ページの場所: なし</p>

表 9・プリンタ・パラメータ ( 続き )

パラメータ	詳細
セッテイ_シヨキカ	<p><b>プリンタのデフォルト値を復元</b></p> <p>ネットワーク設定以外のすべてのパラメータを工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合、手動で変更したすべての設定は再読み込みする必要がありますので、注意してください。</p> <p> <b>注記</b>・工場出荷時のデフォルト値を読み込むと、プリンタの自動キャリブレーションが実行されます。</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^JUF                  対応する SGD コマンド: なし                  Web ページの場所: プリンタの設定の表示&amp;変更をします ([ デフォルトのコンフィグに再定義してください ] ボタン)</p> <p><b>コントロール・パネルでプリンタのデフォルト値に戻すには、次の手順を実行します。</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. PAUSE/FEED (一時停止/フィード) ボタンを押したままにして、プリンタをユーザー設定モードにします。                      プリンタのステータス・インジケータがオレンジ色で点滅します。PAUSE/FEED (一時停止/フィード) ボタンを離すタイミングに応じて、別の処理が行われます。</li> <li>2. オレンジ色のランプが 4 回点滅したら、PAUSE/FEED (一時停止/フィード) ボタンを離します。                      プリンタ・パラメータがすべてデフォルトに戻ります。デフォルト値は <a href="#">47 ページの図 12</a> を参照してください。</li> </ol> <div style="text-align: center;">  </div>

## プリント・サーバ設定の設定、変更、復元

プリンタに、オプションの ZebraNet 10/100 内部プリント・サーバ(有線イーサネット) または ZebraNet ワイヤレス・プラス・プリント・サーバ(ワイヤレス・イーサネット) が付属していることがあります。

詳細は、有線またはワイヤレス・プリント・サーバのマニュアルを参照してください。お客様のプリンタに付属の CD にこれらのマニュアルのコピーが収録されています。また、<http://www.zebra.com/manuals> から利用できます。Web ページの詳細については、59 ページの「Web ページ」を参照してください。

### 最初の接続

ネットワーク対応プリンタのプリント・サーバの設定とセットアップの詳細については、『ZebraNet Wired and Wireless Print Servers User Guide』を参照してください。

**ZebraNet 10/100 内部プリント・サーバ** 10/100 内部プリント・サーバを設定するには、イーサネット・ケーブルを使用してプリンタをローカル・エリア・ネットワーク (LAN) に接続します。デフォルトでプリンタはダイナミック IP レゾリューションに設定されているため、IP アドレスを獲得する必要があります。プリンタ設定リストバンドを印刷して、プリンタの IP アドレスを見つけます (46 ページの「[プリンタ設定の表示](#)」を参照)。最初に接続する前にパラメータの変更が必要な場合は、シリアルまたは USB ポートを使用して、適切な ZPL または SGD コマンドを送信します。

**ZebraNet 内部ワイヤレス・プリント・サーバ**。プリンタをワイヤレス・ローカル・エリア・ネットワーク (WLAN) に接続したり、プリンタの Web ページを表示したりする前に、プリンタのパラメータを WLAN に適合するように設定する必要があります。シリアルまたは USB ポートを使用して、適切な命令をプリンタに送信します。

プリンタを WLAN に接続した後、プリンタの Web ページにアクセスして設定を変更できます。プリンタ設定リストバンドを印刷して、プリンタの IP アドレスを見つけます (46 ページの「[プリンタ設定の表示](#)」を参照)。

### 接続後のパラメータの変更

表 9 に、基本的なプリント・サーバのパラメータと変更方法を示します。その他すべてのプリント・サーバ・パラメータについては、有線またはワイヤレス・プリント・サーバのマニュアルを参照してください。

表 10・プリント・サーバ・パラメータ



パラメータ	詳細
IP_アドレス	<p><b>Printer の IP アドレスの表示または変更</b>                      このパラメータは、「IP_プロトコル」で「カテイ」を選択している場のみ変更できます。</p> <p>選択肢: 0 ~ 255 (各フィールド)                      デフォルト値: 0.0.0.0</p> <p> <b>注記</b>・先頭のゼロはアドレスに表示されません。</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^ND、^NS (有線)、または ^WI (ワイヤレス)                      対応する SGD コマンド: internal_wired.ip.addr (有線) または wlan.ip.addr (ワイヤレス)                      Web ページの場所: TCP/IP 設定</p>
IP_プロトコル	<p><b>IP アドレスを取得する方法の選択</b>                      このパラメータは、ユーザー (確定) またはサーバ (ダイナミック) のどちらかで IP アドレスを選択できるかを示します。「ダイナミック」を選択した場合は、このパラメータは、プリント・サーバ (有線またはワイヤレス) がサーバから IP アドレスを受信する方法を指定します。</p> <p>選択肢: スペア、BOOTP、DHCP、DHCP_&amp;_BOOTP、カテイ                      デフォルト値: すべて</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^ND、^NS (有線)、または ^WI (ワイヤレス)                      対応する SGD コマンド: internal_wired.ip.protocol (有線) または wlan.ip.protocol (ワイヤレス)                      Web ページの場所: TCP/IP 設定</p>
サブネット_マスク	<p><b>サブネットの表示または変更</b>                      このパラメータは、「IP_プロトコル」で「カテイ」を選択している場のみ変更できます。</p> <p>選択肢: 0 ~ 255 (各フィールド)                      デフォルト値: 255.255.255.0</p> <p> <b>注記</b>・先頭のゼロはアドレスに表示されません。</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^ND、^NS (有線)、または ^WI (ワイヤレス)                      対応する SGD コマンド: internal_wired.ip.netmask (有線) または wlan.ip.netmask (ワイヤレス)                      Web ページの場所: TCP/IP 設定</p>

表 10・プリント・サーバ・パラメータ (続き)

パラメータ	詳細
デフォルト_ゲートウェイ	<p><b>ゲートウェイの表示または変更</b>                      このパラメータは、「IP_プロトコル」で「カテイ」を選択している場のみ変更できます。</p> <p>選択肢: 0 ~ 255 (各フィールド)                      デフォルト値: 0.0.0.0</p> <p> <b>注記</b>・先頭のゼロはアドレスに表示されません。</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^ND、^NS (有線)、または ^WI (ワイヤレス)                      対応する SGD コマンド: internal_wired.ip.gateway (有線) または wlan.ip.gateway (ワイヤレス)                      Web ページの場所: TCP/IP 設定</p>
デフォルト_無線 LAN	<p><b>プリント・サーバのデフォルト値に復元</b>                      有線と無線のネットワーク設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。</p> <p>対応する ZPL コマンド: ^JUN                      対応する SGD コマンド: なし</p> <p>Web ページの場所: プリンタの設定の表示&amp;変更をします ([デフォルトのネットワークコンフィグに再定義してください] ボタン)</p> <p><b>コントロール・パネルでプリンタのデフォルト値に戻すには、次の手順を実行します。</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. PAUSE/FEED (一時停止/フィード) ボタンを押したままにして、プリンタをユーザー設定モードにします。                      プリンタのステータス・インジケータがオレンジで点滅します。                      PAUSE/FEED (一時停止/フィード) ボタンを離すタイミングに応じて、別の処理が行われます。</li> <li>2. オレンジ色のランプが 3 回点滅したら、PAUSE/FEED (一時停止/フィード) ボタンを離します。                      プリント・サーバのパラメータがすべてデフォルトに戻ります。</li> </ol> <p style="text-align: center;"></p>



## Web ページ

プリンタにイーサネット配線またはワイヤレス接続が有効になっている場合、プリンタの Web ページからすべてのプリンタ設定を表示できます。詳細は、有線またはワイヤレス・プリント・サーバのマニュアルを参照してください。お客様のプリンタに付属の CD にこれらのマニュアルのコピーが収録されています。また、<http://www.zebra.com/manuals> から利用できます。

プリンタのホーム・ページを、[図 13](#) に示めます。

図 13・プリンタのホーム・ページ



Web ページからプリンタ設定にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. プリンタのホーム・ページで、[ **プリンタの設定の表示&変更をします** ] をクリックします。  
プリンタからパスワードが要求されます。
2. プリンタのパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは **1234** です。
3. [ **変更通知** ] をクリックします。  
以下のメッセージが表示されます。  
アクセスが許可されました。この IP アドレスには制限付きのプリンタページへの  
アドミンアクセスがあります。ここをクリックして次に進みます。

4. メッセージをクリックします。  
[プリンタの設定の表示&変更をします] ページが表示されます。



5. 必要に応じて設定を変更します。  
詳細は、有線またはワイヤレス・プリント・サーバのマニュアルを参照してください。お客様のプリンタに付属の CD にこれらのマニュアルのコピーが収録されています。また、<http://www.zebra.com/manuals> から利用できます。

## その他の診断ツール

診断ツールとして、用紙センサー・プロフィールと通信診断テストを使用できます。

### 用紙センサー・プロフィール

用紙センサー・プロフィールを使用して、次の種類の問題をトラブルシューティングします。

- 用紙センサーでリストバンドの開始と停止位置を判定できない
- 用紙センサーが、リストバンドの事前印刷の領域をリストバンドの末尾と誤って認識する

用紙センサーの読み取り値は、用紙センサー・プロフィールでピークと平らな領域で示されます(図 14)。センサーが正常に動作している場合は2つのピークが表示され、センサーがリストバンド背面の黒マークを正しく検出したことを示します。用紙センサー・プロフィールは、2つのリストバンドを印刷します。

図 14 • 用紙センサー・プロフィール



用紙センサー・プロフィールを印刷するには、次の手順に従います。

1. プリンタの電源がオン (I) で、印刷準備ができていることを確かめます。
2. PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) ボタンを、プリンタのステータス・インジケータの緑色のランプが消灯し、オレンジ色のランプが1回点滅するまで押したままにします。オレンジ色のランプが2回点滅するまで、PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) ボタンを押したままにします。



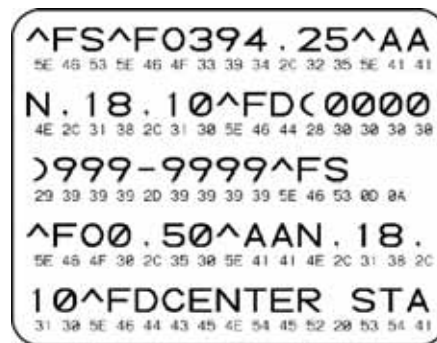
3. PAUSE/FEED (一時停止 / フィード) ボタンを離します。  
 用紙センサー・プロフィールが印刷されます。

## 通信診断テスト

通信診断テストは、プリンタとホスト・コンピュータの内部接続を確認するためのトラブルシューティング・ツールです。

プリンタが診断モード中は、ホスト・コンピュータから送信されたデータがすべてASCII文字として印刷されます。ASCIIテキストの下には、16進値が表示されます。プリンタは、CR(改行)などの制御コードを含め、受信したすべての文字を印刷します。図 15 は、このテストによる一般的なテスト・ラベルを示したものです。実際のフォーマットは、幅の狭いリストバンドに印刷できるように変更されます。

図 15・通信診断テストの印刷結果



通信診断モードを終了するには、次の手順を実行します。

1. ~JD ZPL II コマンドをプリンタに送信して、プリンタを診断モードにします。  
プリンタは診断モードになり、ホスト・コンピュータから受信したすべてのデータがテスト印刷に印刷されます。



**注記**・PAUSE/FEED (一時停止/フィード) ボタンは、プリンタが診断モードになっている間はリストバンドを移動させません。ボタンを使用してリストバンドをフィードするには、診断モードを終了します。

2. テスト印刷のエラー・コードを確認します。エラーがある場合は、通信パラメータが正しいことを確認します。  
テスト印刷のエラーは、以下のとおりです。
  - FE はフレーミング・エラーを示します。
  - OE はオーバーラン・エラーを示します。
  - PE はパリティ・エラーを示します。
  - NE はノイズを示します。
3. ~JE ZPL II コマンドをプリンタに送信して、通常操作に戻ります。

## ファームウェアのダウンロード

Zebra は定期的に更新したファームウェアを公開して、プリンタの操作性を向上しています。HC100 の最新のファームウェアをいつでもプリンタにダウンロードできます。最新のファームウェア・バージョンおよびそれらのダウンロード手順については、<http://www.zebra.com/firmware> をご覧ください。



**注記**・Zebra Technologies は、一部の安全性とコンプライアンスに携わる組織が、リストバンドを使用するシステム全体に対して、テストおよび承認されたファームウェア・バージョンを要求することを認識しています。新しいプリンタに古いファームウェアを適用すると、ネットワークングなど、一部のプリンタ機能を使用できなくなることがあります。

**注意**・ファームウェアのダウンロード・プロセス中に、プリンタのステータス・インジケータがオレンジ色と緑色が半分ずつ点灯し、フラッシュ・メモリに書き込み中であることを示します。



このとき、プリンタの電源を入れ直さないでください。プリンタが動作しなくなることがあります。

必要に応じて、技術サポートにお問い合わせください ([vii ページの「連絡先」](#)を参照)。

ファームウェアをダウンロードする前に、プリンタを強制ダウンロード・モードに設定することができます。このモードでは、プリンタはリストバンドの印刷指示またはコントロール・パネルのボタンを無視します。

**プリンタを強制ダウンロード・モードにセットするには、次の手順を実行します。**

1. プリンタの電源をオフ (O) にします。
2. PAUSE/FEED (一時停止/フィード) ボタンを押しながら、電源をオン (I) にします。プリンタのセルフ・テスト中に、プリンタのステータス・インジケータが3秒間、黄色とオレンジ色が交互にすばやく点滅します。



3. この点滅中に PAUSE/FEED (一時停止/フィード) ボタンを離すと、強制ダウンロード・モードになります。プリンタのステータス・インジケータが、緑色とオレンジ色に交互に点灯します。



4. 使用できる接続を使用して、プリンタにファームウェアをダウンロードします。ファームウェアをダウンロードしている間、緑色のランプがプリンタのステータス・インジケータを回転します。



ファームウェアのダウンロード・プロセス中に、プリンタのステータス・インジケータがオレンジ色と緑色が半分ずつ点灯し、フラッシュ・メモリに書き込み中であることを示します。このとき、プリンタの電源を入れ直さないでください。



ファームウェア・ダウンロード・プロセスが完了すると、プリンタは通常操作に戻ります。インジケータのランプの詳細については、[22 ページの「用紙ステータス・インジケータ」](#)を参照してください。



---

## 仕様

この項では、プリンタとリストバンドの仕様について説明します。

### 目次

物理的および環境上の仕様 .....	66
印刷時 .....	66
標準またはオプションの機能 .....	66
電源コード .....	67

## 物理的および環境上の仕様

物理的仕様	
寸法 (LxWxH)	242x127x178 mm (9.5x5x7 インチ)
間隔	プリンタ上部にメディア・カートリッジ取り付けのために 153 mm (6 インチ)
重さ	1.4 kg (3.1 ポンド)
電源	100 ~ 240 VAC、50 ~ 60 Hz 外部電源
温度	
動作	5 ~ 40 °C (40 ~ 104°F)
保管	-40 ~ 60 °C (-40 ~ 140°F)
相対湿度	
動作	20 ~ 85% (非結露)
保管	5 ~ 85% (結露なきこと)

## 印刷時

印刷ヘッド解像度	300 dpi
印刷速度	51 mm/秒 (2 インチ/秒) または 102 mm/秒 (4 インチ/秒) 注: 速度はメディアカートリッジによって設定されます。
ドット・サイズ (幅 x 高さ)	0.084 x 0.099 mm (0.0033 x 0.0039 インチ)
最小印字長	76 mm (3 インチ)
最大印字長	558 mm (22 インチ)
パー・コード・モジュラス (X) 寸法	3.27 mil ~ 32.67 mil

## 標準またはオプションの機能

メモリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準 8 MB フラッシュ・メモリ (2 MB 最大容量)</li> <li>オプション 64 MB フラッシュ・メモリ (58 MB 最大容量)</li> <li>標準 16 MB SDRAM (4 MB 最大容量)</li> </ul>
接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>RS-232 シリアル</li> <li>USB 2.0</li> <li>オプションの 10/100 有線内部イーサネット (工場出荷時)</li> <li>オプションの 802.11 b/g 内部ワイヤレス・イーサネット (工場出荷時)</li> </ul>
プログラミング言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>ZPL II</li> <li>XML</li> <li>オプションの ZBI 2.0</li> </ul>



## 電源コード

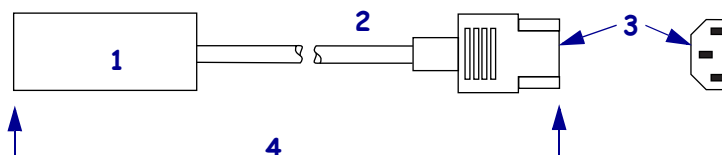


**注意**・人体と機器の安全を確保するため、設置する地域や国での使用に適した 3 芯の認可電源コードを必ず使用してください。このコードは、IEC 320 メス・コネクタを使用し、その地域に適した 3 芯のアース付きプラグ構成であることが必要です。

お客様の注文内容に応じて、プリンタに電源コードが付属する場合と付属しない場合があります。電源コードが付属していない場合や付属のコードがご使用の要件に適していない場合には、[図 16](#) と以下のガイドラインを参照してください。

- ・コード全長が 3 m (9.8 フィート) 以下であること。
- ・コードの定格が 10 A、250 V 以上であること。
- ・安全を確保し、電磁気の干渉を低減するために、シャーシにグランド (アース) が接続されていること。

図 16・電源コード仕様



<b>1</b>	使用する国に適した AC 電源プラグ。 <a href="#">図 17</a> に示す国際安全規格の認定マークのうち、少なくとも 1 つが刻印されている必要があります。
<b>2</b>	使用する国で認定されたケーブル (3 芯 HAR ケーブルなど)
<b>3</b>	IEC 320 コネクタ。 <a href="#">図 17</a> に示す国際安全規格の認定マークのうち、少なくとも 1 つが刻印されている必要があります。
<b>4</b>	長さ ≤ 3 m (9.8 フィート)。定格 10 アンペア、250 VAC。

図 17・国際安全規格の認定マーク





メモ • \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_